愛國婦人

毎月五日二十日發行
一部金三錢　壹ヶ月金六錢　半年分金參拾六錢　全國無遞送料
廣告料一行六十錢
本誌全部禁轉載
東京麴町區(千ヶ淵公園)
發行所　愛國婦人發行所
發行兼編輯人　山澤俊夫
印刷人　永持德一

△次號の本誌▽

紀元節を紀念せんが爲め特に大口鯛二、關根正直、佐々木信綱、三宅花圃大塚楠緒子、中山幸子、尾上柴舟諸氏に乞ふて其佳什を掲ぐ

家庭の和樂に關し、イの一番に訪問せる伊澤修二夫人の有益なる家庭の實驗談を掲ぐ

花嫁時代の追憶は某夫人の親しく手記せられたるもの、面目可笑き獨特の文字は唯だ此編のみ

明治**家庭十姿**は明治家庭の活動寫眞にして、森えつか子の作に成るこれ又家庭の好讀物

△本號要目▽

心の締り……(社說)
人格と詩歌……佐藤正
社頭松……山澤俊夫
婦人と愛國(下)……三宅雄次郎
編輯日記……編輯主任
猿の耳と人間の耳……石川千代松
女の指て軍艦を造る……野中鶴知子
神經質……土田卯三郎
北海道のオサル……永持德一
英語のお稽古……西山生
小說仕合者(下)……村山鳥逕
French Toast(簡便料理)……櫻井ちか子
小說女心……堀內新泉
婦人百科辭彙……知山
廣島支部大會……(寫眞版)
記事△雜報△和歌△俳句△短文△社告等

社說

心の締り

今の人間は、學問も出來、小才も利きて世渡りは上手なれども、律義實體の點に缺くる所あるが如し。今の者には、昔の者は人好しにて、馬鹿正直と見ゆるかも知れず、されど昔の人は、其持する所堅く、人間に確かなる所あり、誠に心强かりしが、今の人は、兎角其場限りにて、主義も踏へ答へもなく、何となく、不安心の感なきにあらず。かくては如何に個人は富み、國は豊かとなりたりとも、まさかの時が氣遣はるゝなり。

今は我利々々の世の中にて、金を儲け、甘い物を食ひ、樂をすることのみ考へて、敬虔の念薄く、心の締りといふものなし。起きるより寝るまで、いきなり放題にて、難有いとも、相濟まぬとも、斯くせねばならぬとも思ふことなく、暗く暮らして居るの有樣なり。元の人は、朝起きて、顔を洗ひ、口漱げば、先づ佛壇に線香を立て、祖先の靈位を拜して、扨て父母に挨拶せしものなるが、今の人間は、起きても、食べることは忘れざれども、心を改め、佛壇に向ふなどのことは、忘れるはまだしも、始めからせざるなり。佛壇の前に畏まることが、宗敎、道德の理窟に合ふか合はぬは、別論にて、佛壇が不賛成ならば、神を拜むも可ならん、靜座思念するも可ならん、銘々の流儀勝手たるべしと雖も、心を清め志を正ふするの方法は、毎朝必ず行ひたきものなり。中江藤樹は、「毎日清晨孝經を拜誦し、以て平旦の氣を養ふべし」と極めて、これを實行せり、藤樹の德行は偶然にあらずといふべし。

黑田長政の「申合せ條々」の中には、「毎日朝夕刀、脇指、自分に拭ひ候て、頂戴致、一日生死無事有事、此二腰之儀にて候事を、うやまひわすれず申事肝要にて候」とあり。武士の魂は此の如くにして練り上げられたるなり、今日は、朝夕大小を自ら拭ひて頂戴致すの時勢にはあらざれども、形を變へてその精神だけは、是非實行したきものなり。藤樹や長政は、名高き例なれども、唯この二人か斯る事を行ひたるにはあらず、元の人は、大概何か極めて、毎日乾度守り行ひ、心に締りをつけ、從つて人間が眞面目にて確乎したる所ありしなり。かくて頼もしき精神、頼もしき人間代々に出來て、それが傳ひ傳ひて、日露の戰争にも勝てたるなり。されば斯る風は、何時までも傳へたく行ひたきものなり。吉田松陰が妹千代に與へし手紙にも「精進潔齋などは、隨分心の堅まり候ものにて宜敷事とぞんじ候に付、拙者も二月廿五日より三月晦日まで少々志し候へば、酒肴共一向給不申」といへり。志す所ありて、或る事を行ひ續くるといふことは、意志鍛錬の好き方法なり。三日位は何でも續けども、續け通すは、小事にても中々出來かぬるものなり。そこを押し通す所に、人間の頼もしき所はあるにて、老弱男女何か一つは、極まつて押し通すことを持つて居たきものなり。これが即ち心の締りといふものなり。或る敎師が予が理想の小學兒童(尋常四年生)とて、その性行を擧げたる中に、「色々の事を自分で決めて守つて居る。例へば、日曜日には、佛壇のお花を立て替へる事、月初めには、八幡神社に參詣する事などなり」とあり。我等はこれを讀みて、誠に珍らしく感心なる子供と思へり。見所ある子供にて、乾度善き者となるべし。今の子供には斯る事が一般に缺け居るは、德育上憂ふべきことなり。今の子供には我儘にて、守り行ふ所、たしなみといふものなし。それも手本たるべき長者が、第一遣り放しのいきなり放題なれば、子供ばかりは、尤められず。されば今よりは、昔に返りて、お互に精神上何か極めて、毎日毎週若しくは毎月必ず守り行ふことを爲したきものなり。昔のものには、時代後れも、不利なるものもあれど、これはかりは好きことなれば、是非復興せざるべからず。「うかうかと暮すやうでも瓢箪の、胸のあたりに締め括りあり」。唯その日その日をうか〳〵と暮しては、人として瓢箪にも及ばざるにあらずや。

▲廣告に就て急告▼

讀者諸姉及び廣告依賴者諸氏の知らるゝ如く、本誌に寄せらるゝ廣告の號一號に多きを加ふるは、如何に江湖の信用が本誌に對して厚きかを證明する所以にして深く感謝に堪えざる處なるも、廣告非常に輻湊の結果近來常に申込廣告の十中三四を掲げ得ざるは深く遺憾とする處にして、同時に廣告申込諸氏に對し申譯なき次第なるも、限りある紙面の制限は如何とも致方なく即ち廣告締切日限を左の如く確定し、日限以後到着の廣告は載否未定分として取扱ふことと定めたり。右御諒承あらんことを望む。

廣告締切日――十四日　二十八日

△新年號要目▽

▽三皇孫殿下……(寫眞版)
▲婦人と愛國(上)……三宅博士
▽サルの耳……石川博士
▲所謂文明病に就て……土田博士
▽善(善言、善意、善行)……嘉悦孝子
▲童話子猿の仇討……安信村羊
▽猿の舞……河村畫伯
▲多季雜題……鳴雪翁
▽梅に鶯……梶田畫伯
▲小說仕合者(上)……村山鳥逕
▽新年の辭……下田學士

サルの耳と人間の耳

理學博士　石川千代松

前號に引き續いて、先づ人間の耳から述べ始める。何人も御承知てあらうが、耳の緣の内側に小い突起があります。(前號第三圖B) これはダーウヰンが云ふ所の突起てありまして、此の突起が、多くのサルては外の方に向いて居たのてあつたが、類人猿と人間とては、此の樣に變じて仕舞つたのてある。

それて、サルの耳に三個の形がある。第一はチンパンヂー(前號第二圖)やオラングウータンやゴリラの樣な耳て、人間の耳と餘り違つた處が無いのてある。次が日本ザル(マカクス)(第五圖、本誌第四面參照)の樣て、先端が尖つて居て、他の獸に耳に最も近い形のものてある。

處が茲に甚だ面白い事は、人間て時々此のマカクスの耳に似たものだの、セルコピテカスの耳に似たものゝある事てあります。(第六、七圖―同上)これがサルの人間に似て居る事を證據だてるのてあるが、茲に又猶一層面白い事は、人間の五ヶ月位の胎兒て、耳はセルコピテカスと殆んど同形てある事てある。(第八圖―同上)要するに人間の耳は始めから今日の樣な形をして居るものてなく、下等なサルの樣な耳を持つて居たのてあるが、其の耳の尖つた處が内部の方に向つて屈曲したのてあります。

編者附記　今年は猿の大當りて、現に石川博士の如き暮の二十日までにとの原稿が三十種以上もあつたので、面會謝絶て、サルとは困つたことだと、一心に原稿を認められて居らるゝ眞最中に編者が伺つたのにも關はらず、特に舊知に免じて此の原稿を認められたのてあります。こゝに記して深く博士の御厚意を謝すると共に、諸姉妹も此事を諒とせられんことを乞ひ置くので御座いまする。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論叢

人格と詩歌

愛國婦人會會計監督　佐藤正

詩歌といふものは、人々の感情を其儘に言ひ表はしたのが眞誠のものであることは誰も異論の無い所であるから、詩歌に志す者は心の鍛錬が最も大切である。徒らに調子が巧みであつたばかりでは良いものは出來ぬのである。心の鍛錬を積んで人格が高くならなければ、何うしても氣高い詩歌は出來ぬと思ふ。吾輩は此事を實際に經驗して大に感じたことがあるから、歌に志す婦人等に一寸話して置きたいのである。

日清戰爭の時、吾輩は韓國の平壤を攻落し、進んで鴨綠江を徒渉し、一枝隊を率ゐて進軍し、滿洲に攻込んだ。頃しも明治二十七年十一月中旬頃の事であつたが、唯ある大孤山の支那人の富家に招待せられ、支那料理の馳走になつた時、其家の主人を始め、孔子の子孫と云ふ支那人等と黄酒を飲んで種々の話をして居つたが其支那人等中々文字のある男で、話が詩の話となつた。すると、忽ち、日本軍を頌した詩を作つて見せて、吾輩の詩を見たいと頻りに迫る。所が吾輩は詩人で無いから即吟はむづかしい。何とか並べ得ないでもないが、日本軍の隊長として、拙ない詩を見せるのも面目に係る譯であるから、一寸當惑したが、頓て筆を採つて左の詩を示した。

霜滿軍營秋氣淸　數行過雁月三更
韓山併得滿洲景　遮莫家郷懷遠征

是は誰も知つて居る上杉謙信の詩であつて、唯、越山併得能州景とある轉句中の二字を改めたのみであるが、恰度、その場合が、月もあるし、事實に適合して居る詩であるから、間に合せに斯うやつたのであつた。すると、支那人等は之を見て、首を傾けて頻りに感心して曰ふには、此詩は何うも尋常でない。實に氣高い詩じや。誠に何うも日本の將軍といふものは、文武兼備で偉いものじや、などと、頻りに御世辭を曰つて居つたが、頓て樂器に合はせて其詩を歌ひ始めた。然るところ、其詩が樂器にも差支なくぴたりと合ふので、愈々感心して早速次韻をしたりして、益々吾輩に詩を促したが、吾輩は左樣やたらに作つては良い詩は出來ぬといふ樣なことで胡魔化して其場を濟せたのであつた。が、併しながら、謙信程の英雄の詩には、其人格の氣高い所が、自然と詩の上に表はれて居るものと見えて、斯樣に人が敬服するのであらうと思ふ。

そこで、つら〳〵想見るに、詩人とか、歌人とか曰つて、それを專門に修めて居つても、人格が缺乏して居つては、とても見るに足る作は出來まいと思ふ。謙信の如きは固より詩人ではない。武人の嗜好としてやる位な事に過ぎなかつたであらうけれども、人格が高いから、見る人をして敬服せしめるのである。故に詩歌を學ぶには、人格の修養が最も大切であると、大に感じたのであつた。

人格の修養は、身分の貧富、尊卑には關係しない。縱ひ貧賤な身分でも、心の鍛錬がつんで、陋劣な言行のない人は、貴婦人、紳士と何ぞ選ばんのである。世間の若い婦人等の爲めに吾輩の感じた事を一言して置きます。

梅か櫻か？　扨て何？

來る彌生三月の本誌

新案懸賞

柳、櫻をこきまぜて、都ぞ春の錦なりける。それは頓て來るべき春風駘蕩の候ぞかし。

この來るべき好期節をトして本誌發行所は、嶄新の妙案に成れる、新案懸賞「梅か櫻か」を發表すべし。梅か櫻か扨て何ぞ？　そは永日のお樂み!!

梅か櫻か

三月の本誌がお樂

鬼が出るか蛇が出るか、其處が？

△社頭松

千代へたるいかきの松は神風をふきおこしてや國まもりけん　山澤俊夫

根元には苔納ひつゝ神垣のまつは八千代に色榮えにけり　京都　桑島古郎

朝日のたゝさす宮の松か枝は千代をふるともいろはかはらし　丹後　岡澤伴子

いやちこき神の宮ゐの初日かけ松もよことを祝ひまつらむ　京都　岩當駒子

新玉の枝のみそのゝ松か枝は年とゝもにや榮えまつらむ

婦人と愛國（下）

文學博士　三宅雄次郎

抑も愛國とは稍や廣義の意味を有し、單に軍事上にのみ云ふべきにあらざるが本來なるに、今日の情勢にては、倘ほ軍事に重を措くの避くべからざるなり。故に遺族慰問の類は今後漸々減じ來るべきも倘ほ且つ軍事に關係して風紀を維持するに勉むるも必要なり。封建の制度一たび破滅してより、武士道の德義は軍事上に於てすべしと說きしもの二三人のみならず。聞が如くんば乃木大將の如きも亦たこれを認むと聞く。

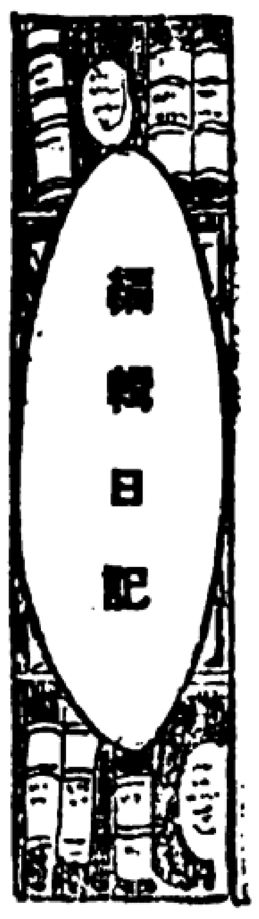
武士道とは、やゝ茫漠なるやに聞えて、封建時代に武士の墮落せる例を引き、その稱するに足らざるを論ずるものあれど各藩區々にして、全く武士道と認むべからざるも尠からず。されど、維新の際、武士道の存廢に依り淘汰行はれし際、最も力を著しゝは、比較的武士道の維持され來りしものにありき。

武士道は軍事に於て育すべきものなりと云へば、證し尠からぬ語弊伴ふならんなれど、世太平に赴くにつれ、やゝもすれば軍人の風紀を擾し、遂に之れを尤むべからざるに至るべし。愛國婦人會は、かかる風紀を擾さゞらしむるが爲めに、關りて力あり得べきものと察せらる。いかにとなれば、惣じて軍人の驕る、怠ると云ふは、時に其の原因の家庭に礎くこと尠きを保せず。故に會員たるものは、互に克く相戒め、軍人にして非行の疑あるものに對し、相當の順序を以て、克く之れを戒めなば、その効力の及ぶところ寔に尠からざるべし。されば、こゝに繰りかへし云はん、軍人風紀の亂るゝは恐るべき結果なりと。彼の名聲を轟かせる佛國軍隊の敢えなく破れしは、全く、原因を、こゝに措けりしなりき。獨逸軍隊のその後やゝもすれば、さる非難を被むれるは、彼の國にて偃ひつゝある處なりき。軍人の家庭の靜肅なるは、これ即ち平和の際、軍國に盡すの一端なりと云ふを得べし。この邊に關し、婦人會はこれが爲めに力を致すべきものなりと思はる。されど愛國のことは啻に軍事上のみならずして、その範圍たるや頗る廣し。概言すれば國民の爲すところ、事として愛國の意を含まざるはなしとせざるべからざれば、これを稍や狹義に解せば、外國に對して何等かの事業を爲すものは、國家に功勞ありとして之れを顯揚するに勉むるも可なるべし。且つ又た工藝上、學術上の新工夫、新發明に對しては、一團體の會として褒揚するも可なるべし。それのみならず、藝術上に於ても、外人に對し誇るべきものあらば、之れを褒揚するも可なりと信ず。

外國との競爭盛なる時代には、何事に於いても競爭に打勝つことは、勿論戰役に於けると大差なかるべし。これを褒揚するは論なかるべし。更に時としては、新工夫、新發明に汲々として、而して衣食も足らざるもの莫きにあらず。これ等のものに對し、何等かの方法を致す、案より可なるべし。

以上の他、倘ほ列記したらんには、その數、殆んど枚擧に遑あらず。而して此等の事業に從事すれば、その事業の數は殆んど數ふるに暇なし。されば、國の平和なるが故に、爲すべく、爲さゞるべからざる事業なしとは決して云ふべからざるなり。

今日以後、常に平和なるべしと見、先づ爲すべく、爲さゞるべからざる事業を列記すれば大概、余の所懷の如くなるべしと信じて、こゝに擱筆す。



▽元日　上々吉の好天氣だ。オツト、天機洩すべからずではあるが、一年の計は元日に在りといふから一寸、將來の計畫を（但し主任者たる小生だけの腹案を）漏して置かう。即ち將來に於ては發行所は徐々に擴張され、愛國婦人會出版部といふ堂々たるものにすることだ。これとするのには、ます〳〵愛讀諸姉の御手にすがることだ。何分とも宜敷。

▽二日　今日も上天氣だ。が、輦轂の下たる我が東京のお正月は至つて淋しいものだ。一寸、書き漏したから、元日分の日記をこゝに補つて置くが、昨日、主任者が本會總裁宮殿下への御年賀を了へて岩倉會長閣下のお宅へ伺がはうとして居る時、一天俄にかき曇り霙がぱらついて來た。元日初霙！　吉祥！？

▽三日　今日も上々吉の淺黄空だ。終日ひる籠り愛國婦人將來のことについて、いろ〳〵の案を立てた。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

神經質に就て

(所謂文明病に就ての其二)
(前號第十面參照)

醫學博士　土田夘三郎

何を乎神經質と言ふ之れを總括すれば神經系統の刺戟に對する反應の普通ならざるを稱す即ち刺戟の度以上に感ずると、耐忍力の乏きことを云ふ、然れども未だ以て此れを疾病と見做し得ざる區域內に存す。

茲に神經と云ふは腦、脊髓、末梢神經、及び交感神經等の全體を指して神經系と稱す。

換言すれば先天的又は後天性に神經病殊に神經衰弱等に罹り易き素質を言ふ、例へば或る誘因に因り即ち消化器、營養、新陳代謝、發育等の障害(內因即ち內部の原因)或は又酒精、濕熱的、生活狀態の故障、氣候、天候の變化、精神的及び器械的の感動等(外因即ち外部よりの原因に)因りて神經病を惹起し易きを言ふ。

例證すれば神經質ならざる人はたとひ怒るも未だ外部(顏面、言語、行爲等)に表はすに至らざる度に於て神經質の人は已に暴行、罵言、等をなすに至る、即ち怒る可らざることに怒るにあらずして其正に何人も怒るべきことに怒るなり。只其刺戟の程度に對する反應の過大なるを云ふ。(其性質に於ては同一なるも其量に於て差異あるを云ふ)

單に此の一方よりのみ云ふときは落語家の云ふ神田ッ子は神經質にして西京子は神經質ならずと云ふことを得べき乎如何となれば彼等の曰く神田ッ子は口より先きに手が出ると云ひ西京子はあなたはん、ぶちますが、ようごはんすかと斷りて後ち手を出すと云ふ。

神經質と云ふは未だ獨立の疾病と見做すべきものに非ず前に記したる如く或る誘因に由て他の神經病就中神經衰弱等に移行する素質を供へ居る迄にて大體此の神經質と云ふものは何に因て來るやと云ふに大凡そ左の如く區別することを得。

(一)、遺傳　就中胚胎する所の原虫又は卵自身に因るもの換言すれば全然たる父母の病毒なり。

(二)、先天性　即ち胎生時の發育障害例へば母體の不衛生又は母體の疾病が神經系統の發育障害を來すに因る。或は尙未だ明瞭ならざる原因に因るもの。

(三)、後天性　營養及び官能上の關係より來るもの。

統計學上證明せらるゝ如く神經系を刺衝する飲料(酒、茶、煙草、珈琲)等の增加と神經病、精神病、自殺等は年々平均して增加す此の階級の間に所謂神經病となり夫れより甚しき症が純粹の前記精神病に陷るなり此等の增加は又製藥會社にて神經藥、强壯藥、睡眠藥、鎭靜藥、鎭痛藥等の製出高の年々增加するを以ても亦證明し得。

文明的器械即ち諸製造所に於ける又は市中の電車等。

政事的關係殊に敎育上の關係即ち體育と智育との不並行に基く障害等。

神經質を來す一助は文明に伴ふ生活狀態の複雜困難となると(衣食住の高尙となり米食又はパンのみを以て滿足し得ざるに至る)其他鐵道、郵便、電信、電話、電車等一つとして神經系統を刺戟する利器ならざるはなし。

如斯して西洋の所謂婦人獨立者の如き自ら良く養ひ得るも其の衣服調度までは甚だ因難となるが如し、其他又大都會等に於ける夫婦ならざる男女間の交際或は生涯に亙る未婚者(日本には少なし)或は結婚の遲延等の如し。

家庭敎育も亦神經質を造るに不尠ざる關係あり。

文明は小兒の生活をして複雜とし其行爲を早く大人化せしむるは又神經質を來たし易き一助なり、假令ば歐洲にては理解力なき小兒を芝居等の多人數密集する處に同伴するが如し。又遊藝或は外國語等を天性の才能なきものに强迫的に敎ゆる等なり。又政略的の宗敎も自然的精神發育を障害すること尠からず。

最も甚だしきは酒精の飲用なり。飲酒の害は無限にして其神經系を破壞して精神病、神經病、自殺者等を生ぜしむる一大原因たるとは今日少しも疑ふ所なし、殊に歐人の小兒にビール又は葡萄酒等を與ふるが如き甚だしきは二三才の小兒が母に抱かれつゝ母の飲用するビールをねだりて飲み居るを見しことあり。

神經質とは如何なる容體を呈するやと云ふに此れ素より其原因の內部より來ると外界に基くとに因て甚だ一樣ならず。然れども之れを總括すれば即ち腦の內外界に對する抵抗力の減少にして假令ば纖く感情の爲めに移動性となる。或は些少の衝突の爲めに已に決定せしことも變動する等殊に如何なる刺戟に向ても其の反應甚だ著しく而かも持續することなく暫時にして再び消失するに至る其の最も輕度の神經質にありては平素は更に常人と異ならざるも一朝或る反應藥に由て初めて前記の症候を呈す假令ば疾病、酒精飲用等の如し。

此の神經質は已に初生兒の時代に此れを診定し得例令ば睡眠の障害、驚愕し易き、夢に由て驚怖、睡眠の不同、夜半の驚き、感受性の亢進、等の普通の小兒より甚だしきこと(俗に云ふ虫持ち)

如斯き小兒は一般に早く精神身體共に發育し月經等も早く潮來し多くは薄弱にして腺病の傾きあり殊に成長後は結核に移行すること多し。

△春の句

召波

飲み過ぎた禮者の面へ餘寒かな
底たゝく音や餘寒の炭俵
行春に流しかけたる筏かな
ほし衣も暮行春の木間哉
春深く都に通るともしかな
やぶ入の枕うれしき姉妹

北海道のオサル

永持生

今は昔の夢となつた。夢！夢と云へば、唯、この間のことのやうに思つて居たのが……指折り數へると、早や一年の往昔となつた。

その一年の往昔、旅衣露けき袖をしぼりつゝ、北海道は室蘭と餘り程遠からぬ紋鼈と洞爺の中間なる長流の橋に停みつつ、唯だ茫然と、思念を過、現、未の三時期に馳せて居つたのは……おゝそれは忘れもせぬ！　去年の恰度今頃のことゝ!!　前方も雪、後方も雪、右も左も、唯だこれ渺茫たる雪の廣野。雪の有珠嶺は近く眉に迫つて居る。雪の駒ヶ岳は遠く、彼の名を何と知るよしも無き峯の陰かや彼處に聳ゆるは雪の羊蹄山ならずや。

振りさけ見れば、山また山！　あの雪の山々の陰にこそ彼の名も幽しき洞爺の湖はあらめ。

前宵の年、前宵の雪。併せ得たる月と雪。花は無くとも得も云はれぬ風情。雪いたゞける有珠が峯の逆に映れる洞爺の湖！　唯だ空しき白き大塊とのみ打ち見らるゝ中の島。世をすね、人をすね、寒さ何者ぞとの恐しき心なき人は、此の風情、何とか見め。たゞ、空しく寒き與なき處とのみぞ。

幽しき風情の彼の湖畔、今はなつかしけれど、思ひ立ち、再び征衣の袖絞らんには、その距離、あまりに遠し。

あはれ、可憐しき名の長流橋、この長流の水上なる洞爺の湖、湖の口より流れ落る莊瞥の瀧。彼の瀧には、美しき少女身をも世をもはかなみて、身を冥土の人となしゝと聞けり。少女は彼の莊瞥の地の怪しき料理する曖昧家の娘とか聞けり道といふもの夢にも知らぬ、畜類に等しく、恐しき兩親より、道ならぬわざ强ゐられて、空しく恨を瀧壺に飲みきと聞けり。あな、うたて。あな、あはれ。

あはれは同じけれど、その心ざま、雪と墨なる、ねぢけ心の靑年男女が、弱き意志と强き周圍の人々の意志と相撲かねて、日に〳〵華嚴、阿蘇と、おのがじし身を投げ捨つる、うたてき報道は廣く世に傳へらるるなるに、この淸き美しき心もたる少女の死のみ世に知られぬぞ、さらにうたてき。

いとせめて、その少女の名さへ知られたならばの思念は我も人も同じであらう〳〵が、その少女の名前すら春の夜の朧々と再び朧を新たにするよしもないが、此の思のみは長流の流の何時までも殘るであらう。

△英語のお稽古▽

A SHOCKING TRAGEDY AT A NOBLEMAN'S RESIDENCE.

A shocking tragedy was enacted at the residence of the Rt. Hon. Tomoharu Iwakura, heir to Prince Tomosada Iwakura, at Motozono-chō, Kōjimachi, Tokyo, shortly before noon on Friday. In a fit of insanity a man-servant named Matsugoro Wada, aged 56, wounded a maid-servant named Otane and murdered another named Oyaye with a razor in their room. He then sprinkled petroleum oil all over the room, set fire, threw himself into the flames and was burnt to death. The flames spread to the other parts of the house and entirely consumed it in half an hour.

shocking とは「と、胸を突く」意、「慘だ」の意、tragedy とは悲劇の意、合せて慘劇の意味になります。enacted は受動の詞で acted から轉變致したのであります。俳優が演劇を致しますのを、俳優の側から申せば act するので御座いますが、演劇の側から申すと enact になりまする。Rt. Hon. は Right Honourable て、貴族に對する尊稱です。honour と able と合してオノラブルとなつたのです。即ちオノアし得べきの意です。shortly before noon 正午少し以前の意。此處の short は寸法からのでは無く、時間の上からの短てあります。In a fit of insanity 狂氣の意、sprinkle 撒す意、Petroleum oil 石油です。Set fire 放火との意、burn to death は燒死ぬとの意、entirely consumed 全滅、全燒の意で御座いまする。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女の指十本で軍艦を造る法

中篇

全國七十萬の會員は老體の犠牲から

我が愛國婦人會は、創立日尚淺きにも拘らず、日露戰爭以來長足の進歩を爲し、今や全國に亘りて五十一支部、會員の數七十萬の多きに達しましたのは、誠に前代未聞の盛事で御座います。是偏に主唱者奥村女史の老軀を犠牲にして幹旋盡力せられた結果なる事は申す迄もありませんが、亦た一方から見れば、諸姉の燃るが如き愛國の熱情に基因する事多大であると信じられるので御座います。

折角、これ程迄盛大に至りし上は、何時までも唯だ〱節約を旨と致して入會し、入會した上は、或は總會、或は會員相互の懇親會、或は餘興等とりどりに趣向を凝さるゝのも、誠に結構のことでは御座いますが、唯だ是丈けのみにては、平和の今日何うやら物足らぬかの感が致します。何か將來我國を富す樣な實績を著したいと思ひます。何となれば、申上ぐる迄もなく、本會は決して一時的に實現したものでは無く、世界の有らむ限り、婦人の種の盡きぬ限、長へに存續せしむべき性質の團體で御座いますから、會が大きくなれば大きくなるだけ、世と共に進歩發達して行かなければなりませぬ。

世界の有らむ限り婦人の種の盡ぬ限

現今に於ける我邦の形勢を熟察致しまするに、有史以來未曾有の日露大戰爭に遭遇し莫大の軍資を費消した爲、國家財政困難の砌で御座いますから、政治家でも、實業家でも、教育家でも、男子と云ふ男子は、總て平和の戰爭に忙殺されつゝ働き居るのであります。

男子は總て平和の戰爭に忙殺さる

然るに何ぞや、打て變り、一般女子の風俗は戰時中とは平和克復後の今日では、國の爲、君の爲、我々同胞を代表して困難に殉せし幾萬の戰病者の遺族並に新傷尚未だ癒ざる廢兵の可憐なる悲境に陷れる事をも知らぬかの如く、戰爭は昔日の事とし打忘れ、或は財産の不自由なきに任せ、命より二番目の美服に奢り其他寶石入金指環も一個にて飽足らず一指に二個も三個も嵌込み、金時計抔に焦慮する向も少なからざる等、夫れも自分の働きに因てする事ならば格別なれど、頭の上より爪の先まで男子の油汗を引まとふて居る樣に思はれるので御座います。誠に戰後婦人の華奢は戰前よりも一層甚しいので御坐いまして、斯く奢侈に耽る人に限り、自然貴重なる十指の運轉機に破損を生じ、横の物を縱にもせず、運動不充分の處より或は胃病に苦しみ、或は不規則なる訪問時間等に時を遷す等、單に男子の働き丈けに依頼し、無意味に金錢を費消するが如き婦人が全國に行列する樣では、國を亡ぼす者は外敵に非ずして、婦人社會ならずやとの歎を免れなからうと思はれます。斯樣な有樣では戰捷國の民とは申されません。而已ならず折角我々を代表し且つ一命を鴻毛より輕んじて國家の爲に戰場の露と消えた幾萬の戰死者も、決して地下に冥することは出來ませぬ。

命より二番目の美服、指輪金時計

貴重なる十指の運轉機に破損を生ず

お斷り致して置きますが、一般婦人社會の風俗が斯樣だからとて、夫等の人々に愛國心がないと云ふ譯ではないので、唯時世に暗き爲に太平に馴れた時の話で、若し一朝、時代の形勢、國家財濟の理義、事情を諒解せば、翻然世界を驚かすやうな愛國婦人となる事は、疑ふの餘地がないのであります。申すも畏けれど、我邦に於ては、皇室の宗家の如く、國民は亦自ら分家の如き關係があつて、兩陛下の下に五千萬の臣民あり上下相親み、上は大臣より下は庶人に至る迄男子は皆兵役の義務を有して居ります。國民の半數を占め居る婦人は、當然尊卑貴賤の區別なく、國民の母、否兵士の母たる大責任を持て居るのであります。

世界を驚かすやうな愛國婦人

諸姉が朝夕懷ろに抱きかゝえ居る愛らしき幼男兒は、皆將來の軍人で、且つ全國至る處星の如くに散在せる小學校に通學して居る男生徒は、悉く將來に於て兵役の義務を有して居るので、是皆兵士の早稻であります。第二の軍人であります。然し何程兵士のみを增加するも、一朝有事の時、兵士のみにては戰捷は期し難い。男子が干を執り戈を執りて出征する裏面後背には、天性尤も同情の淚に富める婦人の後援が無ければなりませぬ。軍人の後援は婦人に限るのでございます。日露戰捷は機械以上、人間以上の大和魂の滿々たる軍人の忠勇武烈に因るは申す迄もなけれども、亦全國婦人が一致協力後援的の活動に俟つことも多大であつたのであります。これ泰平無事なれば無事なる程、本會を擴張し、國體を鞏固にする必要のある處で將來軍の勝敗は、此大團體を以て支配する迄に至ざれば死すとも止まずの大決心は、戰時中よりも寧ろ平和の今日に於いて、より多く肝要なので、唯仕掛煙火的なる戰時中一時の活動の如きは、永遠に國富を增進し、富國强兵たらしむる道ではありませぬ。

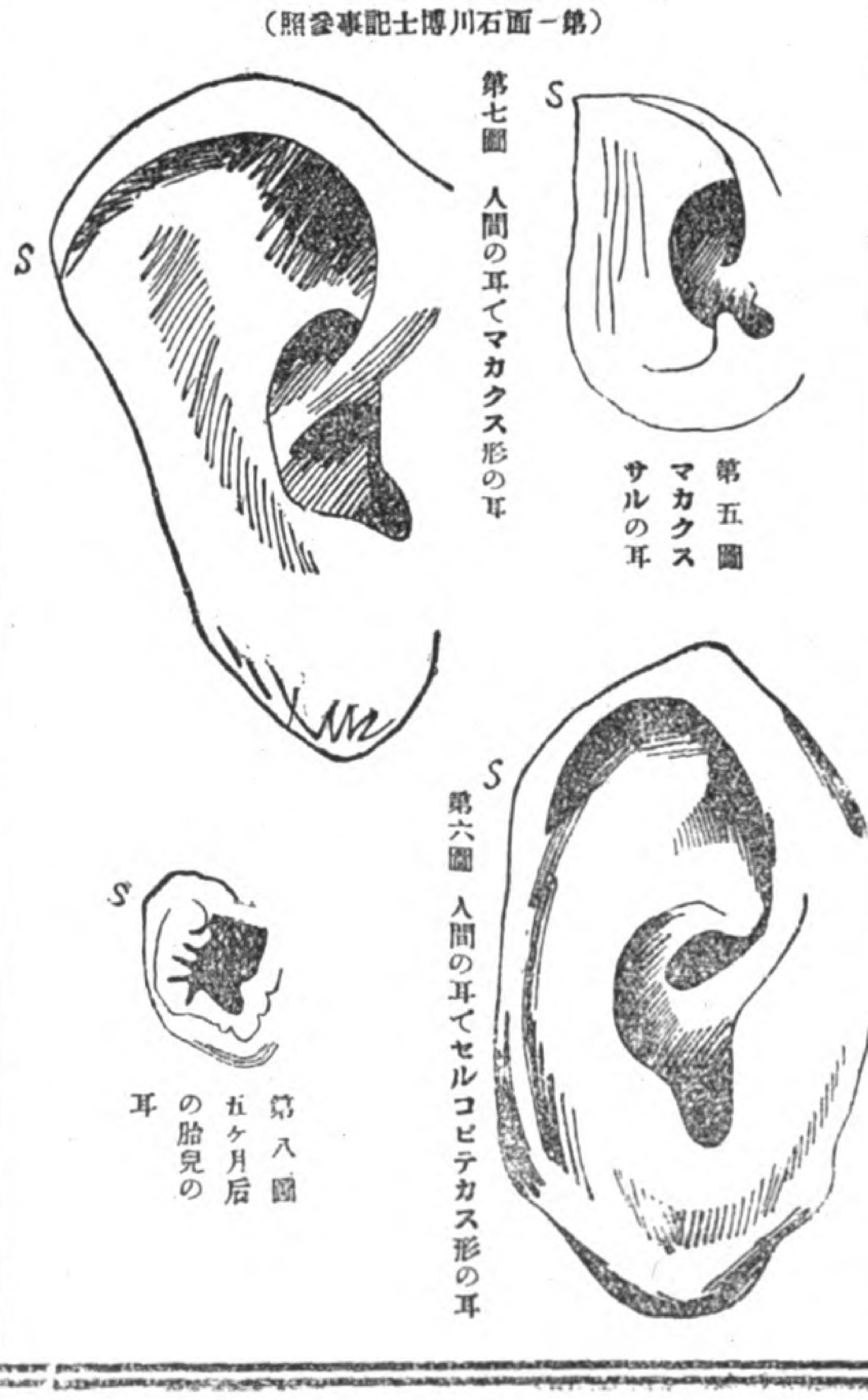
朝夕抱きかゝえて居る未來の軍人

全國婦人一致協力後援的の活動力

普佛戰爭の結果、佛國が獨逸軍より五十億圓の償金を請求された時、佛全國の婦人が大に奮起して纖弱なる婦人の十指を以て、急ちの間に該償金を取戻し、遂に佛國今日の發展を見るに至つたのは、岩をも徹す女子の一念が與つて力ある事は否むべからざる事實で御座います。勿論日本は佛國の如く負たのではありませぬ。然し軍には勝つても多大の軍資を費消した爲に、現今は國家財濟の極めて困難の秋でありますから、諸姉よ、冀くは向日一致協力して奮起した佛國婦人の如き大決心大覺悟を以て十指の運轉機を修繕し、大に努力奮勵して軍艦を造る勇氣を持つて戴きたう御坐います。唯々、其方法で御坐いまするか。それは、今一號以後までのお預けに……

サルの耳と人間の耳

(第一面石川博士記事參照)



裝飾品の話（上）

長堰生

英語で寶石の事をジューエルといふが之は元來「樂み」とか「喜び」とかいふ意味の言葉から出たので寶石を身に着けて飾るのが一般人類の嗜好であるとを表して居る。此嗜好は何んな人種にも何んな時代にも普く有つて野蠻の者は南京玉とか、貝殼とか、骨、角、羽、木などの類で飾り、文明人は金銀寶石を使つて之が爲には巨額の金も惜まぬ者がある。

昔、銀行や金貸しの樣な金融の機關が無かつた時代に於て金持の富を貯へる仕方としては唯この寶石を買つて蓄へて置くといふより他に無かつた。今でも印度ではまだ此法が行はれて居る。古き書物に載つて居る金屬の最初の裝飾品は黄金である。併し今日のやうに細工さした品ではなく河から拾ひ集めた砂金とか又は山から堀り出した儘の金塊に過ぎなかつた。といふのは細工をする道具としては唯石の槌があつた計りで細工の仕樣が無い、夫が後になつて金を熔かす術が發明され、道具も色々工風が積んで黄金の塊も大きいのが得られるやうになり細工も進んで來たのである。

有史前の人類が其粗末な道具で細工をした巧みさは實に驚く可きもので、古墳などから出た物の博物館に出て居るのを見ると或は金を同じ厚みに延ばしたり、或は細く針金に打つたり、又は指輪、頸輪、耳輪などに編んだなど種々ある。

古代の埃及人が用ゐた寶石類を見ると其細工の技術が非常に進んで居つたとが想ひやられる、それは彫刻をしたり、七寶を鏤めたり、種々な金石を巧みに箝め込んだもので今日の細工も中々及ばぬものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小説

仕合者（下）

村山鳥逕

細君は肩を窄め手を振り、額に横筋が出る程目を大きく瞪いて。

「鳥渡北川の奥樣らしいのですよ、奈何しましやう。」と小聲でいふ。

「奈何もする事はないやね、隣の坐敷でお前逢なさい、此方は來客中だつてな。」

其間に下婢が取次に出る。果して北川の細君富子が訪問したのであつた。細君は納戸の方から廻つて玄關へ迎に出た樣子、客はもう直に高調子で挨拶やら御世辭やら、衣摺の音を聞かせて、此方の二人の居る隣の坐敷に、他の入口から通つた。志村と主人名取とは無言の儘顏を見合せ、烟草など吹かして居たが、志村は坐つた儘遠慮の無い伸をして小聲に、

「玉突は奈何だね、今日は其もおやめか

「うむ行く事は行くが、少し待ち給へ」と隣を指して「君の所謂賢夫人の語る處を聽いて置き給へ、何も後學の爲だ。」

* * * * *

名取と志村とは此方の坐敷で聽いて居ると、隣坐敷では女同志が、内心は甚麼だか知らないが、さも親しさうに話し合つて居る。初の内は家族が風邪を引いた事や時候が惡い事、世間が物騷だとか、鼠が荒れるとか、頭取の園遊會で誰とかゞ醉つて困つたとか、京都は拔染が上手だとか、御園おしろいを試みたとか、新築の松屋呉服店は何の部屋も明るいとか言つて、至極機嫌が宜いやうであつたが、竟に北川夫人は自分の亭主の事を話頭に上せた。名取が舌を出して見せると志村は點頭いて笑つた。

「まあ奥樣本當に私驚いて了いましたわ、那麼男ぢやお猿いと思つて居ましたのに、全く案外ですわ、何一つ此方の概は聽いてはくれないで、自分ばかり勝手に遊んで歩くのですもの、此夏だつて鳥渡鹽原へ行つたぎりで一週間とは居ませんしさ、此冬は其かはり何處か暖かな處へ行かうといへば、矢張大磯にしやうつて聽かないんでしやう、それに恁なんですよ、昨夜は歸つて來たのが二時、えいく十二時一時はざらなんですけれども、二時は酷いぢやありませんか、什麼交際だつて宴會が那樣に遲くまであつて溜るものですか、何處へかしけ込むんですよ、昨夜から貴方腹が立つて〳〵一夜耿然ともしないで、今朝からは頭が痛んで奈何する事も出來ませんのよ。考へると女位くだらない者はありませんね。」

「然うですよ、だけれども、まあ仕方が無いわ貴方、女は未だ男の腕に賴つて居るんですもの。」

「奥樣までが那樣事を仰つて在らつしやるの、だから不可んだわ、男が働けるのも女が居るからこそ出來るんではありませんか、男ばかり威張つて居られて、溜るものですか。今朝は疳癪が起つてならなかつたから、うんと言つてやりましたわ、それでも大變面目ながつて、將來は氣を付けるつてね、大變に詫まつたから、まあ勘忍して置きましたの……。」

名取は「何を言つて居やがるんでえ」と隣で憤慨して居たが、靜に聽いては居られないといふ樣子で

「おもと！」と襖越に大聲で呼んだ。

「はい。一寸御免遊ばせ。」と此方の室に來て、笑ひながら「何か御用ですか。」

「着物を出せ、着物を。」と突慳貪に言つて、「誰方だお客樣は、何、北川さんの、ウム然うか。」と立つて隣室に入つて。

「いや是は失禮しました、何だか陰に聽いて居ると大氣焔だから、寄り付けなかつたんて、それでも北川君は御盛だと見えるな、結構だ。」

「貴方迄が其ては困つて了ひますね、些と御意見でも願はうかと思つて居る處を。」

「どうして誘ふ方です。」

「へえ？」と成程美しい目で名取を見る。

「お召は何に致しましやう。」妻君は立ちながら訊く

「此間造らへたのさ。」

「玉突になら大島紬でも宜敷かあ御座いませんか。」

「又那樣餘計な事を言ふ、出せといへば出しやお前の役目は濟むんだ」。

「何方かへ御出掛けて御座いますか。」北川夫人が、おちよぼ口をして訊く。

「是から志村君と柳橋の方に行きます。」

「柳橋と申すと？」

「それは男ばかりで、女は知らないで可い事です、殊に貴方のやうな賢夫人に聽かすべき事では無い。」

「て御座いますか。」

「て御座いますよ、大に失禮ですが何卒御緩り。」と立て奥に衣服を改めに行つた。北川夫人の前に態々當てたのであつた。

* * * * *

名取と志村とは連立つて門を出た

「奈何だい志村君聽いたかい。」

「聽いたよ、驚いちやつた。」

「賢夫人の本性も判つたらう。」

「成程賢夫人だ、もう〳〵賢夫人は願下だ。して見ると僕なんかは仕合者かな。」

「極まつた事さ。」

「もう妻に就ては何にも言はないよ。」

「無論の話さ。」

（をはり）

家事實驗談

我が發行所は、こゝに新春第一の計畫として「家事實驗談」を本誌に掲ぐることゝし、その第一歩として、過る日の午前九時小石川の邸に

家事實驗談

本會評議員伊澤修二氏夫人を、いの一番に訪問せしめたり。同夫人の談話は、即ち、次號の本誌に掲げらるべし。幸ひに愛讀を給へ。

短文

年はじめ

三重　莊司種子

めでたきと云ふことを思ふに、いかなれば斯くめでたきや、われのみめでたき芽出度さは知られども、世はめでたしく〳〵といふまゝに、唯めでてたく思ひて、めでたしといひぬ。見ること聞くこと、めでたうして、いふ事なすこと又めでたし。かれもめでたし、これも芽出度からずやは。

元日やいつも持ちたきこのこゝろ

新天地の福音

歲新たにして、天地の風物自ら新たなり。此の新天地に於ける自然の光景に伴ふて、我が愛國婦人發行所も亦た自から計畫するところ莫らんや。即ち此の新年劈頭第一に於て

女德論叢

を陸續出版し、一面に於いては一家の主婦・娘子たる人々の參考に供し同時に他の一面に於いて女子敎育の任に當れる人々の研究資料と爲さんと欲するの職全く成れり。詳しくは近刊の誌上に廣告すべければ、諸姉乞ふ此の福音を歡迎し給はんことを

新天地の福音

青（寄書）

夢（第一等）

越後　奥知代子

青いお顏に喪衣の肩もおもげ枕下におすはり遊ばすは夢にも忘れぬ姉樣。何時お出て遊ばしてやと問ひ參らすれば、たゞ淋しげにほゝ笑ひ給ひ、つと寄り添ひて、なつかしげに握り給ふお手の冷さよ。若き血汐も凍らん許り。あなと驚く我が聲に夢は破れて、ここ寄宿舍の窓、下弦の月はさよし。あはれ三年相見ぬ故鄕の空、なつかしき姉君に事なかれかしと祈りぬ。

同（第二等）

大分　桂木文子

霧に匂ふ花の吉野を分け行けば、見渡す限り櫻花爛熳數知れぬ電燈は輝き渡りて、中に立てるぞ勤高き故奥村刀自の銅像なる。昔て滿洲の野に我軍を慰問せられし時の雄々しきみ姿そのまゝ、壯嚴なる君が銅像の周圍にあまたの群集寄りつどひて、尊き功績をたゝゆる折りしも、ふと目醒むれば、銀板に玉を轉す如き鶯の聲。さては昨夜歌かるたに夜を更かしゝ報忽ち現はれて、文机に寄りしまゝ、うつら〳〵の夢なりしか。

編輯日記

▽四日　好天氣。今日は本會事務員の互禮會が本部の樓上で開かれた。と、同時に元日以來の年賀狀等を一々整理した。今日までに屆いたのは、大阪の十合貫榮子、長崎の力富さだ子、同ちな子、岡山の西村長子、同きよ子、吳の竹入爲子　紀伊の南部種子、弘前の笹田正野子、三重の莊司種子、群馬の伏島たき子、濱松の萩原定子、岡山の武田須磨子、横濱の鈴木松子等七十五名の姉妹方、またその他に東京牛込の瀨藤千代子、鈴木榮子芝の中服富士子等五十名。尙ほ他に臺灣の久野榮、仙臺の高橋轍兵工、隅田輝吉等の諸氏と、及び弘報堂、秀英舍、伊崎商店等八十軒で御座います。ここに謹て御禮申し上げて置きます。

▽五日　まづ〳〵上天氣。日曜で今日は休み。

▽六日　今日から、いよ〳〵編輯の事務と雜務とに取りかゝる。氣もよい、仲々暖い日だ。今日は半日だけ事務を見れば可い筈のだが。到底左樣はいかない。今日も愛讀諸姉や會員諸姉から年賀狀が來た。伊勢の小島駒子、大分の桂木淸閑女、秋田の西村ちか子、大阪の石原綾子、青森の留月文子、日向の山下武良子等合計五十一名の姉妹方、他に寄稿家生田葵山氏、福岡の博文社からだ。例により一々御答禮はいたしませぬが、御厚意は深く誌上に御禮を申し上げて置きます。序でに申上げて置きますが『社頭松』の詠歌が今日やうやう屆いたのが御座います。これは恰度都合が出來ましたので、今日正午まで着の分だけを特別に詠進の分に入れて置きました。左樣御承知をー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

男子の盛んに實用せる文明のトイレット!!!

將校及び高等官を始め東京紳士は擧て舶來石鹼より優るクラブ洗粉を以て最良の洗面料なりと賞用せられ海軍將校の水交社及び三越呉服店等を始め信用ある化粧品店にては男子の實用品としてクラブ洗粉の賣行頗る增加しつゝあり

華族夫人と七百家の家庭に於る化粧品

某侯爵と伯爵兩家の令夫人は最も大切なる婦人の素顏を美しくするには新しき空氣と共に効用著しき日本第一のクラブ洗粉を石鹼よりも良品なりと同族間に弘く紹介を給はりしが今や七百有餘の公侯伯子男の家庭は殆んどクラブ洗粉の愛用者にして三越呉服店に於ける御用常に頻々たり

宮中の御化粧品　女官

日本宮中の女官の方々を始め東宮御所の女官皇孫御殿の女官の方々は日常御身を清めさせらるゝにクラブ洗粉を以て尤も適當なりと賞せられ昨年四月廿六日第一回の御用を三越呉服店へ賜はり其後八月十六日迄の御用數十回に及ぶ

外國婦人が信用せる化粧品

英國大使マクドナールド伯爵令夫人は日本のクラブ洗粉を以て外國製の石鹼よりも良品なりと賞し東京津村の手を經て日常盛んに愛用せられつゝあり

將軍の令夫人と三越呉服店

三越呉服店の手を經て有名なる東鄕大將閣下の令夫人及び黒木大將閣下の令夫人並に令孃の君は卅九年八月頃よりクラブ洗粉の熱心なる愛用家にして其の重き賞讃は貴婦人間にクラブ洗粉の大流行を現はす所以となれり

日本最高の女學校　高尙なる流行

學習院を始め日本女子大學校の各生徒方は美しき素顏を現はし給ふにクラブ洗粉を以て尤も良品なりと賞用せられ今や女子大學附屬の櫻楓會も又之れを販賣せられつゝあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

女心（上）

堀内新泉

空は朝から雲重く、北風の太く身に泌む日であつた。

今年も最う極月の二十九日、餘すは後二日と成つたので、何處の家でも新年を迎へる準備に忙しいが、ひとり深見の家ばかりは、まだ何等の準備もして居らぬ。イヤ爲ぬてない、諸事人に負嫌の上に、この上もない虚飾家と來て居る細君の氣は、最うこの間からヤキモキとして居るのであるが、何分にも肝心な御亭主が落着き拂つて居て、まだ大切な物を調達して來ぬので、子供の春着に小切一寸買う事も出來ず、日はズン／＼詰るので、性急の細君は實に遣切れたものでない。

いかに呑氣だと云つても時が時、御亭主だつて、可愛い我が妻子の事を忘れて、敢て平氣で居る譯でもあるまいが、其處には何か云ふに云はれぬ切ない事情があるのと見える。細君の方て、「良人は氣が知れぬ？まあ何んと云ふ呑氣な人だらう、自分の妻子を斯う遣つて打棄つて置いて、世間の人に生耻をかゝせる！彼の人は眞個に馬鹿ぢや無いか知ら？」と首をひねるやうなら、御亭主の方でも眉を顰め、「家内は狂人か知ら？乃公は斯の通り無口な性質て、彼此と切ない事情は云はぬまでも、大抵乃公の不斷を考へ、また乃公の顏色を見たら、略、想像が着きさうなものを、家に歸れば哮え狂つて假令馬鹿にもしろ己れの亭主を、意氣地無しだの、鈍間だのと云つて罵る！ア、ア乃公もこれぢや五十年の不作だ！」と云つて、今頃は思案しい／＼、何處か道で歎して居るかも知れぬ。

人は斯んな時の夫婦ぢや無いか。互に讓ッて、互に憫み、相勵まし、相愛し合つたならば、また何んとか風向も變つて來るであらうが、深見の家の細君は、少しも優しい氣が無いので、ただ最う他を不足に思ふばかり、その癖自分は怠惰者て、寸毫でも我が身を强め、併せて夫の身を强くすると云ふ事は御存知ないのだ。

男は强くなければ成らぬ！强くなければ成らぬが或る場合には、女よりも氣が弱くなることが時に無いては無い！其處を慰め勵ますのが細君の役目て、彼の女の任務は、ただお腹の太きく成るばかりでは相濟まぬ。それては神さまが、我々の夫婦をお作りになつた有難い御趣意にも戻る譯だ！

所が深見の細君は、其處を善く御存知ないので、我が家の爲には大切な外征の勇士、即ち大切な御亭主が、何んなに心に重傷を負ふて歸つて來ても、我れは外征の勇士を撫恤るのを任務とすべき家庭の優しい女王さまとして、少しも御亭主を撫恤らぬのみならず、スグ胸座を捕まへて、「あんまりぢやぞえ此方の人！」と攻附ける。成程これぢや御亭主（他にも幾多の心配ある）も遣り切れまい。――イヤ、大きにお察し申す譯だ！

この日も矢張左樣てあつた。正午少し過に御亭主は、太く弱つて歸つて來ると細君きり／＼と外眥を釣上げ、はや最うそろ／＼戰鬪準備、御亭主は可哀さうに少さく成り、

「お勝や、留守に何方か見えなかつたかい？」

「借金取の外には誰も來ませんよ」

猛虎一聲山月高し、實に物凄い荒神さま！

「谷島君は見えなかつたかい？左樣かい、最う今日あたりは、何んとか云つて來る筈だが……」

眉を顰めて、火の無い火鉢に手を出す哀さ！鬼神のやうな細君は、前に座つて子を膝に取り、

「誰か來る筈だなどと、最う今日日に成つて、そんな氣やすめを仰有るな！貴郞のやうな鈍い方にや、今日は幾日かお分りになりますまいが、世間は極月の二十九日ですよ」

御亭主は腕を組んで眼を閉る、細君一人て騷いて居る、――

「イヤ今度これが出來れば、私も身が浮くとか、お前にも苦は見せぬとか、何時もたゞ口頭の保養ばかり！私は今年て最う丁度五年間、憚りながら春衣一枚着せて貰つた覺えはありませんが、それに引きかへ此處の家へ持つて來た物は、殘らず良人に無くされて了つた事は善く覺えて居ります！だが最う今日日に成つてそんな愚痴を云つても始まらん！また貴下を見たやうな人に地球のあらん限り連添つて居て見た所て、生涯米味噌の苦は何うせ免かれません！太陽さまが朝西から出る日はあらうとも、良人の懷中に拾圓のお金の入ると云ふ日は無い、斷じて無いと見越しての御相談です！モウ無くした物を返して下さいなどと云ふ無理な事は云ひませんから、何うか最う今日の今からお暇を下さい！私は歸れば生家もあるし、また假令生家は無いにしても、行末何んの見込も無い貴下のやうな介所無しに連添つて居て、今日この頃の苦勞をする氣になれば、長者の生活は出來ぬまでも、その日その日の米味噌位の事には苦は見ません！さあ良人も男ぢや、何をグズ／＼成さるんです？早く三行半を書いて埒をお開けなさい！最う誰が何んと云はうとも、一日の事は置いて、假令一時間もこんな家に居て、第一貴方のソノ間の脫けた、鈍ひ顏を見るのが私はいやです！さあ、紙も筆も此處に用意して置きました、早く三下半を書いて下さい！」

と云つて、紙と硯箱を突附けた。

東宮侍講 正三位 本居豐穎大人
宮内省御歌所參候 文學博士 小杉榲邨大人 序
毎日電報記者 篠山克己君謹撰

雲井の雁
竹の園生

上製和装最美本 正價金卅五錢郵税六錢
並製美本 正價金廿八錢郵税四錢
上製和装最美本 正價金卅錢郵税六錢
並製美本 正價金廿五錢郵税四錢
合本 洋裝最美 金七十五錢 郵税八錢

前者は今上陛下の御言行を九重の雲深き邊より洩れ承はりて謹錄し奉りたるものにして、御逸話をも添へたり
後者は畏くも兩陛下 東宮殿下の御逸事を謹述し奉りたるもの國母陛下は愛國婦人會に關する御逸話あり悉く萬民の耳に新なるもの丶みなれば聖代を紀念すべき傳家の寶典として無比の良著なり

發行所 東京日本橋區上槇町 如山堂書店

岩倉公爵夫人
毛利公爵母堂
鍋嶋侯爵夫人
大隈伯爵夫人 序
鳩山春子女史著

婦人の修養

總クロース綴
菊判四百卅六頁
定價金壹圓貳拾錢

此書は愛國婦人會本部評議員鳩山夫人が其學殖と經驗とに由りて世の女子に新知識を與へんが爲に物せられたる新著にて婦人交際の作法を始めとし内に在て齊家保育に任じ外に出てゝ博愛慈善に盡すべき心得をいと懇切に述べられたるものなり婦人の本分を完うせむと心懸けらるゝ人々には此上なき良師友なり
愛國婦人會々員諸氏に限り一月中特價金八拾錢にて送本すべし但し外に小包料市内は四錢地方は八錢を添へらるべし

大日本女學會編輯部編纂 石井泰次郎評釋

各地特殊料理百珍

優美なる製本にて
菊判百五十頁
定價金參拾錢

此書は各地方特殊なる珍らしき料理百數十種を我會が多年かゝりて蒐集し割烹専門家石井氏の評釋を加へ一冊子となしたるものなり有りふれたる食料もて種々珍らしき料理の仕方あり此書に由りて日々の總菜が家人に満足を與へ一家和樂を助くること多かるべし
愛國婦人會々員氏に限り特價郵税共金貳拾五錢

發行所 東京青山原宿二百十番地 大日本女學會
電話新橋一八三〇 振替貯金一一八三六

我が大日本女學會は婦人界に極めて有要なりと考ふる書籍ならでは發行せず世の營利一遍のものと同一視せられざらんことを希ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

冬季雜題（懸賞俳句）

內藤鳴雪選

天　凩や檜の枯葉に吹き足らず　宮城　山形ふみ子

地　初雪や袖振ひつゝもやひ傘　三重　荘司種子

人　縫初めの小窓に梅のかをりかな　紀伊　西山ひさゑ

〇

雪の日や翼に戯るる村雀　岡山　阪田元子
せりをつむ童が破る薄氷　同上　同人
麥畑にたのしく語る二人哉　同上　てふ子
三日月の欄にしく霜夜寒哉　新潟　阿部ひて子
火廻りの呼聲高き霜夜かな　三重　荘司種子
海と空と次第に分かれ初日影　芝區　中隈富士子
道羽子や頭のそれて吹亂し　宮城　山形すみ
幼子の雪もてあそぶこたつ哉　石川　小阪夏子
吹雪して暗き一間や水仙花　同上　同人
さゝ鳴や冬至も過ぎし昨日今日　宮城　山形幸子
温室につゞく小庭や返り花　陸前　山形ふみ
山を背に冬の梅咲く五戸の村　紀伊　西山秀
猿曳の上座に据へし小猿哉　神田　鶴岡とく子
落葉して山門高し冬の月　同上　同人
雪の夜に鉢木謡ふ隣かな　愛知　市橋幾子
山茶花や草庵に入る人は僧　日本橋　野尻幾子
泌る湯の音して冬の牡丹哉　愛知　下郷すゑの
埋火や昔語りに夜の更けて　同上　同人
辻堂に女二人の時雨けり　太田露子
のつと出る朝日に小田の氷哉　愛知　下郷きみ
行く汽車の面もふらぬ吹雪哉　三重　ひさゑ
阿伽桶を抱く比丘尼や梅の道　山形　阿部さゐ子
榾けふる賤かのきはや梅の花　長門　香田長子
俳諧は寢ても起きても短檠かな　青森　吉田曉子
水音の親み顔にも捨小舟　紀伊　西山數子
ゆけど〳〵出谷跟し梅の花　同上　同人
ひさて折るしはに寒夜のひゞき榾　同人
風一陣杉の雫木を時雨けり　野尻ふみ子
をちこちに魚釣る舟や小春空　三重　荘司種子
寒梅にちらつく雪も景色哉　同上　同人
袖に雪はらひつゝ行く機嫁　東京　鈴木榮子
霰ふる板屋の下やにごり酒　山城　古川米女
年忘れ忘れて遂にれたりけり　京都　山本千代子
初雪やきのふ鶴見し松のうへ　熊本　黒川友學
灯を消せばねずみさゝやく夜寒哉　岡山　てふ子
年のくれはしら暦も名殘哉　同上　同人

婦人百科辭彙

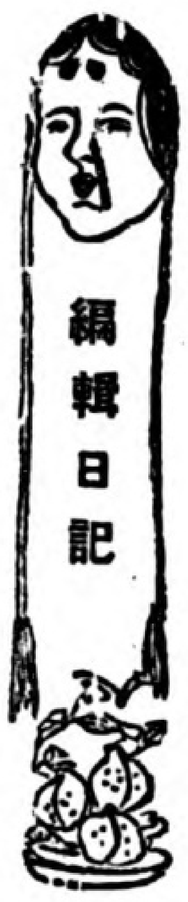
△海△苔　一寸考へた處、何の必要も無いやうに思はれるのにも關はらず、衞生上必要なものは海苔です。海苔は大人の副食物として、その香氣が食慾を進め自然的に消化を促すのです。また一方から滋養の効價も認められます。で、いかなる滋養があるかと申すに、精製した上等の海苔を分析した結果に依りますと身體の營養に缺くべからざる蛋白質が百分中三三、七五を含有して居るし、又た脂肪質も同じ百分中に一、三〇あります。次ぎに青海苔の分析表を見ますと蛋白質一九、三五、脂肪質一、七三ありますから、普通の海苔の成分は滋養になる事が確かに證明されます。斯ういふ次第ですから、海苔は自然の滋養のあることがお判りになることゝ思はれます。

△臍△突△出　臍、臍突と書くのが本來です。臍の形が瘤の出來たやうに成つて居るのを云ふのです。何うして臍突になるかと云ふに、臍帶の傷が癒つた時、小兒が非常に泣ることがあります。又大便の時にたいさう息張ることがあります。すると此の臍突になるのであります。これを豫防するには、臍帶の傷の癒つた時、臍の上に消毒綿を當て其又上に一寸角ほど切つた紙を置き、左様して繃帶をします。繃帶は四手繃帶といふのが便利です。これを作るには布を横巾二寸五分、縦二寸程の長方形に切り、これを横巾の四隅に四本の紐を附け、帶のやうに結ぶのです。

△脂△肪　人の體には蛋白質と含水炭素と脂肪とが必要であります。ところで、脂肪に富む食物は何んなものかと云ふに大略次のやうなものであります。

	脂肪	蛋白
牛酪	八四	〇七
豚ベーコン（乾）	七三	八
同（温）	六六	七
豚肉	三七	一四
豚ハム	三六	二三
家鴨	四五	一五
胡麻	四四	四五
落花生	四六	二八
油揚	一八	二一
牡牛肉	二九	一六
羊肉	二八	一六
乾酪	三〇	二五
クリーム	二二	三
鷄卵	一二	一二
卵黄	三一	一六
鰻	一一	一六
鮪	一〇	一五
黒大豆	一八	四〇
鷄肉	九	一八
牛乳	三	三

編輯日記



▽七日　夜中の雨は雪になつて、落花紛々、雪紛々々！が、今日休日で幸矣！

▽八日　雪の明日て、仲々寒いかい。今日も休日の日ではあるが、多忙い身には遊んてなど居られない。自宅で編輯の事務に着手した。

▽九日　今日からいよ〳〵新年に事務にかゝる。在來の編輯人大久保高明君は依願免職になつた。だからいよ〳〵忙しい。會員や讀者の方々から今日も年賀状が澤山來て居つた。日向の山下むら子、山口の吉森たか子、岡山の坂田元子、群馬の佐藤美代子、廣島の菅田八重子、岡山の坂田元子、他二十姉から、甲府の辻秀造氏からも來た。こゝに御禮を申し上げて置く。倘ほ、坂田元子姉に申上げて置きますが、賞品の發送されぬ分が、編輯人變更その他で大分ありますから、近日まとめてさし上げます。何卒おしからず。更に附け加へて置きますが、丹後の岡澤仲子姉から年賀と共に詠進の社頭の松を、大口鯛二氏宛にお送りになりましたが、お氣の毒ですが間に合ひませんでした。あしからず。依て右は本紙にだけ披露いたします。その他森島古野姉、その他からも詠進がありましたが、いづれも間に合ひませんでしたのはお氣の毒に存じます。今一つ仕け加へて置きますが、前記のやうに大久保氏は發行所に關係がなくなりました。で御座いますから、今後は永待總一宛て御書面を下さるやうに願ひます。倘ほ大久保君も今後御厚意上時々お助け下さる筈てすから、諸姉、その御意で。

▽十日　晴。今日からいよ〳〵編輯大多忙。

▽十一日　晴。會長閣下御實子の御宅で、云はふやうなき、大事件があつた。これは新聞に出て居つたから諸姉御承知のことゝ思ふ。て、取り敢えず、御見舞に伺つた。また、今日から事務并びに編輯員として國學院出身の神谷君が入社さるゝことになつたので、發行所は、大分都合が好くなつた。今一つ、附け加へて置くが、東京府下の神田よし子姉他十一姉から、御送金と同時に御年賀が來た。

▽十二日から十四日までは唯だ〳〵編輯に忙はしくて齷齪とばかり暮した。

▽十五日　參らしき雪。山口の豐原知惠子、新潟の山本要次郎氏とから年始のはがきが來た。

本品は畏れ多くも
常宮殿下
周宮殿下
富美宮殿下
泰宮殿下
御使用品

高等香油
チエリーオイル
紳士貴婦人令孃用

千九百七年巴里流行
乳状薄化粧料
エフスクリーム

珍らし敷新輸入品
最も日本婦人に適し皮膚の營養滑澤に實効ある
佛蘭西新式煉白粉代用品
本品は顔を洗ひ乾きたる後少量を萬遍なくぬり摩擦すれば實に得も云へぬなめらかによきつやを出し香氣よくあれを防ぎ白粉やけ皺のよる憂なし又顔の汚れることなき嶄新良好なる薄化粧料として紳士貴婦人間に高評あり
定價一瓶三十五錢全國到る所の賣藥小間物化粧品店にあり
東京市日本橋區本町二丁目　チエリーオイル本舗
發賣元　高橋初次郎
振替貯金口座一〇九三一番　電話長本局四一三一番

金製羽織紐

1　十八金製　十圓以上十三圓
2　十八金製　九圓以上十二圓
3　眞珠入　十八金プラチナ　十八圓以上廿五圓

弊店新案の羽織紐は金製なれば申迄もなく優美にして形は最も嶄新目下貴婦人界一般の流行と成り好評を蒙り居候

東京市日本橋區若松町
丸嘉
電話浪花七百八番　振替貯金東京九〇四三番

宮内省御用品金牌受領
專賣特許
蒸氣こて（和服安全のし器）

一日早く求むれば一日多くの重寶を得
各地有名なる金物店雜貨店呉服店に有
東京　千歳商會

登録商標

Crème Simon

皮膚の營養上容貌の美のために特に應撰する良劑
衛生美顔「シモン、グリスリン、クリーム」は近頃の製造品ではありません久しき以前より御使用で御評判を受けて居るのであります
「シモン、クリーム」は一種の强壯劑と皮膚を柔かくする藥劑とを配合して製造したる衛生上無比の良品であります
「シモン、クリーム」は皮膚を白くし且つ滑かにして表面がすべ〳〵なり又天鵞絨の如くならしむ又麗しき香氣を發し快よく毎日御化粧の時に御使用になれば何時でもつやつやしき容貌を保たれます

「シモン、クリーム」はヒビ、アレ、日ヤケ、汗も、ニキビ、唇のわれ、霜やけ、赤ら顔、又は毒虫に刺されたる時に塗りになれば僅かに少時間で其効能が分ります又髯剃の後や小供衆に塗抹しますとすべ〳〵として大變氣持がよく、又美しくもあります
本品は販路が益々擴張されるに從ひて僞物が多く市場に出て居りますから御求の際は「シモン、クリーム」「粉おしろい」「石鹸」共に登録商標を御確め上御購求あれ東京及大阪の三越呉服店を始め各地の洋品店化粧品店に販賣して居ります
日本代理店　横濱七十番　エー、ハイム商會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

料理の栞

家庭簡易　西洋料理法

私立英語専門櫻井女塾長　櫻井ちか子

FRENCH OR EGG TOAST

1 Egg.　1 cup of milk.　1 Pinch of Salt.

Break the egg on a plate and beat it with a fork for a minute. Then mix in the milk and salt. In this mixture sook the slices of bread until they are soft, lay them in a buttered omelet-pan, and fly them slowly until a golden brown. Spread a little butter, and sugar on the upper side of each slice and arrange them one above another in a covered dish. Serve very hot.

フレンチ、トースト（玉子の燒パン）

△材料▽　玉子一つ　牛乳一合　鹽一つまみ

△製法▽　玉子を鉢の中に割込み、鳥渡かきまぜて後、鹽と牛乳とを混じ其中に厚さ三分位に切りたるパンを浸し、柔かになりたる後、燒鍋にバタを引きて、とろ火にて、兩側を金色になるまで燒き、表面にバタを塗り砂糖をふりかけて蓋物に重ねて入れ置き、熱い所を食するのであります。

Better is a dry morsel, and quietness therewith, than a house full of sacrifices with strife.

睦しうして一塊の乾けるパンあるはあらそひありて牢れる畜の盈たる家に愈る　ソロモン

Oh, New year's Day!
Thou remindst me of the age of Gods.

元日や神代のことも思はるゝ

THE GENERAL ELECTION.

It is reported that the general election will probably be held on May 1st.

△總選擧

總選擧は恐らく來る五月一日行はるべしと報ぜらる

●根本的美顔術

文明の力は遂ひに人の顔や手足の造作にまで干渉して來た醜婦も化學の力で美人となり得る様になつて來た歐米では婦人美容に關する學校さへ設立せられ如何にせば容姿を美くしくすべきかに就て苦心研究して居る専門學者さへある美人國に生れながら家庭に於ける舊慣から恐ろしい鉛毒の混入した白粉や粗製の香油や質の惡い紅を以て僅かに裝容の具となし來つた日本の婦人も近來は多少自覺したと見へて遂に斯術の敎師や著書が現はるゝ様になつた今は又た米國からポンピアンス、マッサージクリームなる一の新化粧品が輸入された

ポンピアンス、マッサージ、クリームは今を去る十餘年前米國に發明せられ美容劑中の最優等品として聲名高く同國美顔術學校の敎授藥學博士ダブリユー、スラツセル氏が『美容に關する藥品器械も澤山あるが諸藥品の各特色を綜合的に有つて居る同クリームほど完全善良のものは無い』と激賞したもので第一の効力は色を根本的に白くする事である白粉のやうに上面ばかりを白くするのでなく心から白くするのである一日一回なり三日に一回なり先づ良い石鹸で顔を洗ひ乾き切らない中にクリームを充分に塗り思切り兩手で乾燥するまで摩擦し皮膚の中の不純物が垢の様になつて出る程摩擦した後羊皮か絹半巾の様な軟かなもので鄭寧に拭き取るのである然すれば白粉の様に直ぐ塗つて直ぐ白くはならぬが十日乃至二十日間後には其の効顯著るしく豊頬白色の美人となるポンピアンス、マッサージクリームは確に我國の美容渇望者に非常の満足を與ふるものと思ふ

既に九重の雲深き高貴の方々を始めとし都下の華族方の令夫人令孃サンマース夫人一家一高敎授クラーク博士夫人ブランド夫人村井弦齋夫人等は同品の有効を嘆賞して居る直段は大參圓小壹圓五拾錢郵送料は十貳錢日本代理店は東京銀坐壹丁目のローヤル化粧料發賣元佐々木商店てす

醫院案内

耳鼻咽喉病診察
淺草向柳原町一丁目二番地左衞門橋通り
中村醫院

●病院開設
從來京橋區南鍋町にて診察の處病院落成に付き自今當所に於て診療を爲す
皮膚科、梅毒科
泌尿生殖器科（生殖器機能障害）
外科一般
院長醫學士　大野豊太
副院長醫學士　三原新太郎
診察、前八時至十二時、後二時至五時
京橋區木挽町五の三　農商務省西側
電話新橋四一三一
大野病院

實用新案特許
最新發明　**磁石應用安全携帯針箱**
該器ハ家庭必要有効無期ノ發明品ニテ各學校及ビ各軍隊等ニ於テ實驗上大賛賞ヲ博シタル嶄新發明ノ携帯針箱ニメ其構造ハ極メテ堅牢且高尚優美廉價ニシテ體裁好キ要具ナレバ婦人用各學校等ノ女子陸海軍軍人及ビ旅行用等ニハ至極便利ナル新發明ノ良具ナリ

本品ノ特色
△裁縫スル際若シ誤ツテ針ヲ疊ノ敷合セ等ニ落シタル時ニハ本器ヲ其敷合セニ當テナバ針ハ磁石應用ヲ以テ本器ニ吸ヒ付キ容易ク取リ得ラル△本品ハ其ノ構造比較的ニ小ナレ𪜈裁縫用具一式ヲ秩序正シク収容且懐中シ安キヲ以テ携帶用トシテハ最モ便利ナル良具ナリ△本品ヲ用ユレバ針ヲ紛失シ又ハ鑄ヲ生ズル等ノ憂ヒ無シ△本品ヲ用ユレバ針ノ種類ヲ容易ク見分ケラレ又其ノ數ヲモ容易ク覺ヘラル△本品ハ御進物用及ビ各商店ニテ景品用トシテ至極高尚優美ノモノトス△特約販賣御望ミノ方ニハ特別大割引可仕候
特製一個（三十錢）
甲　一個（貳拾五錢）
乙　一個（拾錢）
郵券代用一割増
第一工場　東京府下北豐島郡田端九二六
第二工場　本所區菊川町一ノ十七
東京市淺草區田原町壹丁目八番地
製造販賣元　**帝國內田商會**

内科一般
東京神田美土代町三丁目十九番地
午前宅診午後往診
電話本局貳千九百七十番
板垣亨

院長醫學士　**鳥山南壽次郎**
鳥山内科醫院
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番
午前診察　午後往診

岩佐病院　日本橋區蠣殻町二丁目廿三番地（電話浪花六九七番）
診察時間　自午前九時至正十二時
内科婦人科　院主　岩佐純
内科　ドクトル院長　岩佐新
（獨逸留學中）副院長醫學士　高田壽
外科　醫學士　山村正雄
産科婦人科　醫學士　西村漸
腦病脊髄病　醫學博士　土田卯三郎

腦病脊髄病
神經衰弱、ヒステリー、中風癲癇
神經痛運動障害等
●午前　自宅　神田多町壹ノ八
●午後　岩佐病院　日本橋區蠣殻町
醫學博士　土田卯三郎

産科婦人科專門
淺草區左衞門河岸
電話下谷一〇二八
診察毎日午前　入院随時
岩田病院

●婦人病專門
芝明舟町十九虎門外宮様前
電話新橋三三二四
院長　櫻井克己
櫻井醫院

○院長　ドクトル　**木村順吉**
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二二六七〇番）
婦人科産科
木村病院

齒科治療　ドクトル　**齋藤清太郎**
麴町有樂町帝國ホテル向（電本千五百十九）

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
内科病特に腦脊髄神經疾患
院長　ドクトル　メヂチーネ　**峰秀世**
峰内科醫院

午前宅診午後往診　入院随時
内山小兒科醫院
淺草區下平右衞門町十七番地
柳橋通り（電下二三六五）

小兒病診療
宅診午前　往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士　**内田愼太郎**
●電話下谷七一八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醬油發賣廣告

登録商標

マルニホン

フジニホン

ヒシニホン

醬油釀造界の一大革新

弊社は前人未發の新發明にかゝる嶄新にして完全なる鈴木式釀造方法及び機械的裝置により精良無比の醬油を釀造販賣す

特色

一衛生に適す
一經濟に宜し
一滋養に富む
一嗜好に叶ふ

●丸日本印特別製甘露醬油 は本社特得の複式再製にかゝる逸品也香味の醇良にして滋養分豐富なると他に比類なし

●富士日本印最上醬油 は品質濃厚にして風味の美なると在來の製品に優る數等なり

●菱日本印最上醬油 は品質富士日本印と同一なるも淡泊にして極めて調理に適する品なり

●御進物用としては特約販賣店に於て醬油切手を調進す

資本金壹千萬圓

東京深川小名木川運

日本醬油釀造株式會社

販賣所は

東京日本橋北新堀町　合資會社　日本醬油東京販賣所　電話浪花一四六番

又は到所の酒醬油問屋及販賣店にあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和歌　梅
大口鯛二大人選

一等　一首　山形　阿部さゐ子
さきそめし梅のはつ花あらたまの年ほぎぶみにそへてやらまし

二等　二首　福島　爲田よしの子
市に出づるしづの少女子またせおきて文したゝむる梅のしたいほ

三重　日野千鶴子
のどかなる年の初日の影うけて梅のつぼみはゑみそめにけり

三等　三首　山梨　名取正代子
露うけてけはひの水にまじへましにほひめでたき梅のはつ花

山口　末田たけ子
すむ人の心もゆかし谷川のながれにそひて梅さける庵

新潟　江部ひで子
新年のほぎごとのぶるまらうどをゑみてむかへぬ床のしらうめ

四等　四首　京都　池田美登子
あすはてん年のはしめにいけてよとうばが里よりおくる梅が枝

三重　諸戸常子
家づとに一枝乞はんしづがやのかきねの梅はいまさかりなり

大阪　十合貴美子
年のくれにうばがもてこし梅の花はつ日のかげにひとつひらけぬ

奥　竹入勇子
まなびやのやすみと友はたづねきぬ梅さくまどに一日かたらん

五等……(二十一首)

岡山　西村てふ子
年ほぎの文に添へてやおくらましけさき初めしうめのはつ花

兵庫　頭井胤子
いとま得し年の始の手すさみにいけてながめん梅の初花

遠江　萩原さだ子
としたてははるもとなりの垣の内にはやさきそむる梅のはつはな

石川　小坂夏子
幼子のゆびさす方をながむれば嬉しや匂ふ梅のはつはな

三重　中島千万子
やよや梅たれにみよとて咲にけむ今としは花のにほひふかめて

長崎　葛原梅香
しも雪にしをれぬ梅のすかたこそ人の節操のかゝみなるらめ

群馬　伏島たき子
つくろはぬしばのかきれに朝日さし梅さきいでゝ年たちにけり

芝區　中隈富士子
板戸もる月なつかしみあけて見ればいつこともなく梅が香そする

麹町　木保六女子
よろこひてむかへられぬる心地せり里なつかしき梅の咲ひに

京都　津田君子
あら玉の年の初めに匂ふなり鉢にうゑたるしらうめの花

三河　山内經子
も汐やくあまがとまやの梅さきてあみほす軒も香に匂ふなり

靜岡　彦坂清子
年たちてこゝろもきよきあした哉のとけき庭に梅の花咲く

京都　渡邊豊子
紅梅の花こほれけりうくひすの初音にゝたる妹か文より

岡山　山崎露子
ふりつめる雪にかくれてゆかしくもけさ咲き初めぬ軒の白梅

大阪　大谷たか子
谷間よりもやたちのほるあさぼらけ梅か香きよし月の瀬のさと

愛知　平松いと子
手折りてぞ小瓶にさゝむ雪の中にほゝ笑みかほの梅の初花

青森　大橋かれ子
坂垣にみえぬとなりの梅の花風のまにく香に匂ふなり

山口　末田貞節子
まきこめておくりし友のまごゝろも文筒にかをる梅の初花

橫濱　鈴木まつ子
日うけよきわら家の軒にさきいてし梅の香のたかくもあるかな

岡山　西村きよ子
うくひすの初れもいまた聞ぬまに梅の一花ほゝゑみにけり

青森　大橋りや子
春またて梅さきそめぬ大君の御代のとかなる年のはしめに

六等……(十九首)

山城　古川よれ女
白妙にふりつもりたる雪さへもうつらふ庭の梅のくれなゐ

大阪　俣野文子
あら玉のとしのはしめのうれしさにまつ笑ひたる梅のはなかな

愛知　下郷すゑの
大原女か繋く眞柴にさしそへて行手にほへり梅のひと枝

うめ子
年ほきにきまさん友をまちわひていけし紅梅一つひらきぬ

青森　大橋玉子
うくひすのまた宿らぬに早や咲きぬかそふるはかり軒の梅か枝

備後　天野園子
そのまゝをゑかきとりなむすべもかな花のかをりもうくひすの音も

鹿兒島　藤野錠
鶯もやかて鳴くらん昨日けふほゝゑみそめぬ園のしら梅

群馬　井田しま子
つゝめとも匂ひこほるゝうめの花ゆきを衣ときては咲くらん

青森　留目文子
あら玉の年の始めにうれしくもほゝゑみてけりむろ咲の梅

青森　留目和歌子
鶯の聲にれさめて窓の戸をあくれはかをるうめの初はな
評曰人のにありげならずや

宮城　山形幸子
あれはてゝ人めもまれ透垣の梅さく庭に夕日さすなり

紀伊　西山ひさゑ
實蒔せし梅も今年はたけのひてほゝゑむ今朝そうれしかりけり

岡山　武田須磨子
片枝先ゆきをかつきて咲きいてぬ花のなかなる梅の初花

靜岡　安永みち
わか宿のみきはの梅のほゝゑみて下ゆく水も香に匂ひつゝ

陸前　山形すみ子
少女子のまゝごとすなる裏庭に白梅さきてひるしつかなり

堺市　金田つる子
かざしにとこはるゝまゝに手折けり南のまどの梅の初花

鹿兒島　松村壽賀子
ふりかゝる袖のしら雪はらひつゝ香に立ちとまる梅の初花

山城　古川よれ女
春の夜はのきばの梅に打かすみ月もにほへる心地こそすれ

宮城　山形文子
入り殘る月も霞みて山寺にむなしくかをるしら梅の花

▽第七十二回文苑募集△

和歌	春季雜題	大口鯛二選
俳句	冬季雜題	内藤鳴雪選
短文	雪	編輯局同人選
新體詩	春の晝	同上

締切　二月五日
發表　二月廿日

商品案內表無代送呈
商品概要
金銀時計類及附屬品・眼鏡類
寶石入指環・金銀盃
装器類・洋食器・七寶花瓶
貴金屬美術製飾品　各種
大勝堂
東京銀座通尾張町
電話新橋二二六四番

妾事薄毛にて種々藥を試しも効なく醫博士令夫人より奇藥を得薄毛も濃くなり生へざる所迄毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに三百有餘の禮狀を受け不思議のまゝ尚困難者へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ………
東京々橋越前堀一ノ四　河村愛子

CREAM
色黒き人に告ぐ
肌を艶白たらしめんと欲せば牛乳浴牛乳浴に勝るは
クリーム石鹸
定價　小形十五錢　大形廿五錢　特五十錢
香氣馥郁として香水匂袋の代用をなす
輸入元　オーケー商會　東京神田久右衛門町

肺炎に罹りたる後スコツト乳菓を用て健全となりたる例證

愚息儀肺炎に罹り滿三ケ月間伏蓐罷在り萬一回復するも結局は肺結核となるべしとの事にて總身肉落ち骨顯れ見るも不憫の容体と相成申候然るに醫師の勸告に由りスコツト乳菓を服用せしめ候處未だ一壜も飲み盡さゞるに食慾大に進み總ての經過良好となり現今にては却て罹病前の何れの時よりも健全にて相替らずスコツト乳菓を嗜好致候拙者共はスコツト乳菓が愚息に與へたる好果を視て右愚息の平癒を以て全くスコツト乳菓の効驗の致す所と確認致候

Always get the Emulsion with this mark—the Fishman—the mark of the "Scott" process!

千九百六年三月十一日
シーフキルド、ドールセツト街六拾三番地
ジヨン、イー、ブレーキー

右快復の理由

右ジヤツキー、ブレーキー、が肺結核とならずして快復したるは全くスコツト乳菓中に含有する優逸なるロフオテン大口魚肝油(最上等にして最高價なる肝油)が其肺臓を癒やし其全身に良好堅靭なる筋肉を造成せしむるの精力を有したるが爲めなり

他のありふれたる大口魚肝油乳菓は斯くスコツト獨得の完全なる製法に由りて充分に消化し易くせられたる最も純良にして最も活力に富める肝油にて製せられたるものに非らざるが故に斯の如き偉功を奏する能はず

包装の大口魚を負へる漁夫は前述の如き驚くべき快復が唯偶然のことに非らずして確實の事實なることを保證す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

製造元 胡蝶園
東京日本橋區濱町四丁目
發賣元 丸見屋商店
電話浪花四四番

畏き邊りの御料に召させ給ふ
完全無鉛
高貴御化粧料
御料 御園白粉
ねり製 御園白粉
水製 御園白粉
こな製 御園白粉
洋式化粧クレーム 御園の蕾
高等化粧水 御園とき水
高等顔料ふき粉 御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高等香水油 御園香油
高等香水 御園香水
高等はみがき 御園歯磨

院長 醫學博士 榊順次郎 婦人科 産科 毎日午前診察
副 醫學士 久保徳太郎 婦人科 外科 内科 外國留學中
副 醫學士 田代謹二 婦人生殖器病及内科 泌尿器病 火木土午後診察
施診火木土自午後一時至二時
婦人科産科 榊病院
麹町區三番町三三(電話番町三九五)

大俵炭
大徳用
山出シノ儘以入堅炭、土釜、切炭、一俵ハ拾貫目内外入
目方ウリ
市内ハ無賃配達
戸塚商店
(電話本局三二〇八)
神田三崎川岸

半ゑりは神田
赤のれん
に限る
電話本局二八五三
神田表神保町壹番
出店
新橋博品館階上

最新流行
美術繪畫
半襟木綿物
東髪用品
和洋化粧品
雑貨
香水
種々取揃有之候
東京日本橋通り一丁目
浪花一四〇六
しらき屋

最新流行御半ゑり種々
御半ゑり新もよういろ〳〵
ゑり善
東京日本橋區堺町通りふきや町
電話浪花千二百七十番

宮内省御買上ノ光榮ヲ得タリ
銀牌受領
二十五年選
香油 パール
三十年ヲ經タルモ毛髪ト脂ヲ保護スル殊ニ有數ノ逸品ナリ
日本發賣元 東京平尾分店

きらひの赤毛の人に告ぐ
○二瓶一組小五拾錢○同大壹圓○送料拾錢
該液劑は獨逸國博士の發明に弊店多年の試驗劑を加味せし新藥にして僅か十分間にて染上り黒き光澤を發し美麗なるは鳥羽の如し而して永久禿げる事なし其理由は毛髪中に硫黄質を含めるものにて此の硫黄と液劑と毛中にて化合酸化硫黄となりて黒色を表出するものなれば禿る疑なきは明白なる事實にて皮膚に無害なるは弊店保證致ます
毛染所 東京京橋本材木町三ノ四 岡田藥店

東京銀座壹丁目
木村屋半ゑり店
電新一三九番
芝公園勸業場内 出店
横濱伊勢佐木町 支店

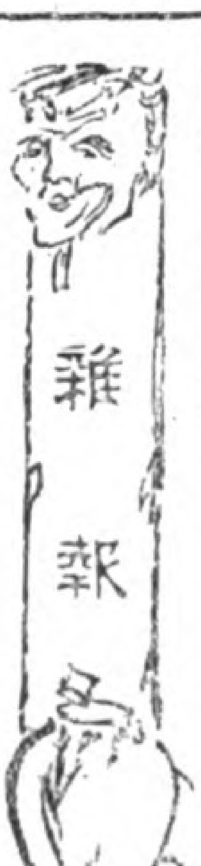
THE GEM
ゼム
衛生家必携 懐中良藥
新年と「ゼム」
○みとりこき門松と共に美くしき新春をむかへ芳香馥郁たるものは「ゼム」なり、
○屠蘇に醉ひ電車、俥、に搖られて心地悪しき時精神を爽快ならしむるものは「ゼム」なり、新年宴會に酒、煙草を過し悪醉に苦しむ事なくその味を美ならしむるものは「ゼム」なり、
○歌留多會、福引會、及び新年の交際社會に優雅なる紳士淑女の必ず携帯すべきは「ゼム」なり、
○故に「ゼム」は年始回禮者の缺くべからざる者なり、
新年と「ゼム」
定價 七粒入 五錢 十粒入 十錢 百粒入 百錢 器入 廿五錢 六十粒入 九十錢
東京 愛國堂 大阪 高崎 山崎 弟 馬喰町二丁目 京橋區 三丁目 二宮 商會 山 高見

新形流行半えり 羽織紐 帯締 其外和洋小間物一式
東京日本橋通り一丁目
白木屋 大和 洋小間物
電浪花一六四六 振替口座一八五五六

預金利子
定期預金 年五分
當座預金 百圓ニ付日歩八厘
別口當座 同上日歩壹錢
全國送金手數料 一口金額十銭 無料 (以下判読困難)
株式會社 第三銀行
東京市日本橋區本町三丁目
電話浪花四四四〇 四五一二番

▽岩倉家の災厄　本月十日午前十一時麴町區元園町岩倉具張氏方に於て放火傷人の椿事ありしが、加害者和田松五郎が凶行の原因は要するに精神に異狀を來したる爲にして、元來松五郎は富山縣新川郡富山立町に生れ昨年二月同邸へ住込み十月頃より多少發狂の氣味ありしが、平素正直者丈に些少の事にも怒り易く、此日も些細の事より斯る慘劇を演ぜしものならんといふ。又被害者池田竹は京都生れにて七八年も岩倉家に奉公し至つて温順の質にて他人に怨を買ふ如きは有り得べしとも思はれざるに狂夫の爲に斯る災危に遭ひたること氣の毒の至りなり。猶ほ鈴木八重は松五郎が凶刃を揮へる際お竹と見誤られて不幸にも燒死せるものなりとぞ。岩倉家の災危は察するに餘ある事どもなり。

▽英國愛國婦人の榮譽　英國の女傑として世界に知られしフローレンス、ナイチンゲール女史は老病の爲め久しく病褥に在りしが、その趣英國皇帝陛下には聞召され、舊臘十一月二十九日附を以てオーダー、オヴ、メリット勳章を授けられしと云ふ、抑も此のメリット勳章と云ふは、去る明治三十五年、現國王陛下戴冠式と同時に制定されしものにて、此時同勳章を授與されしは武官、學者、文人、美術家併せて十二名なりしが、今日に於ては女史と共に其數既に二十名に達し其中には、過般逝去しつる大理學者ケルヴヰン卿を始め、我國の山縣元帥、大山元帥、東郷大將をも含めりとぞ、巾幗の身を以て該章を授けられしは此のナイチンゲール女史を以て嚆矢と爲せば、女史の榮譽の一しほなるは云ふまでもなく、實に我國愛國婦人をして一層奮起せしむる所以のものとこそ云ふべけれ。



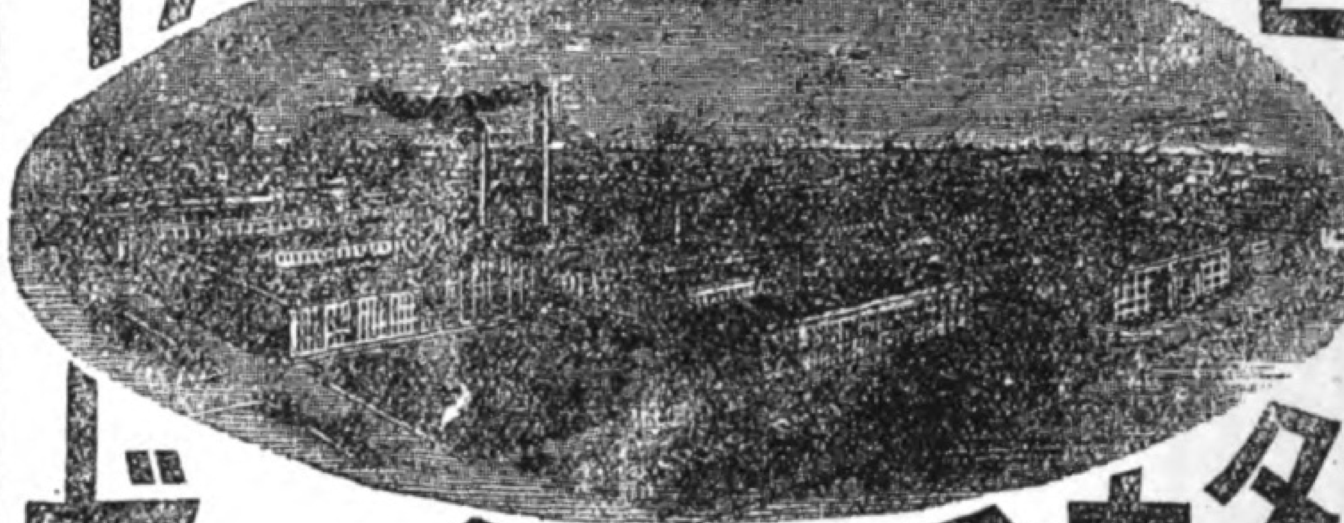
雜報

西洋小間物 帽子各種 婦人用小間物 東髪用具 肉化粧品類
東京神田小川町通 一番地
中久商店

●他の人より多く寒さを感ずるは貧血の證
ひん血療法
貧血
血液の成分及其生理作用を説明し貧血の治療法を詳述せし物也(送本郵券二錢迄れ)
京都古川町三條南 京都メディカルホール

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

TAKA-DIASTASE



タカヂアスターゼ

世界最大の製薬工場

パークデビス社は完全なる設備を有する世界最大の製薬會社にして、上圖は其デトロイトに於ける本社工場の全景なり。此他同社は加奈陀及英國に同一規模の分工場を有し、世界の醫家が要求せらるゝ總ての醫薬品を製造す。

高峯氏發見消化新劑

タカヂアスターゼはパークデビス社の製品なり。完備せる装置の下に熟練なる技術者に依り、製出せらるゝ本劑は品質純良、毎瓶強度均一にして、又其効力永久不變なり。

醫師及薬舗諸彥！模造品製造者の誇大なる虚僞的廣告に誤らるゝ勿れ、世上本劑以上の賣品なきは歐米及吾多數醫學大家の實驗報告に徵し確認せらるべし、需用者は必らず高峯氏タカヂアスターゼと指定せられよ、本劑は粉末錠劑水劑の三種として發賣せり各地薬舗にて販賣す

代理店　東京南茅場町　三共薬品合資會社

プレスト洗粉

本品の特色は最も皮膚に有効なる原料を以て精製したる者なれば色を白く肌を滑らかならしむ

定價……袋入金貳錢　大袋金十錢　同金十五錢　同金五錢　罐入金七錢　特製金壹圓

本舗　東京牛込　山本玉川堂

胃病良薬　太田胃散

實用新案特許

二枚折藤井式衣桁

定價　甲　六圓　乙　五圓五十錢　丙　五圓

東京市麴町區三番町廿九番地　掛物箱製造販賣　藤井兵太郎

流行の　櫛笄簪

鼈甲　金　銀

寶石細工

染髪用品

東京神田

三ツ井屋

◉色を白くし　にきび知らず

獨逸國ドレスデン市ロールメヂシンス會社製品

皮膚特効美白新劑

チプリ化粧水

○本品は西暦千九百六年の發明にして常用せば肌を軟密にし自然白色艶麗の美顔たらしむる事は第一の特色なり

○本品は皮膚に特効ある薬品を配劑しあるに依り「ニキビ」「ソバカス」「ハタケ」其他「顔のアレ」等に最も奇効あり

大形一個　廿錢　小形一個　十錢

（にせ物）あり右商標と松澤名義に注意

東京石町四丁目　松澤常吉化粧品部

○本品の効能顯著たる事は試驗成績の結果に於て之を確むるを得遂に政府印紙を貼用するに至れり本邦に於て化粧水に印紙を貼用せるは本品を以て嚆矢とす

○東京市内は勿論到る處の賣薬小間物化粧品店にあり品切れの節は送料八錢（六瓶迄）相添へ本舗へ御注文あれば直送す

正價小瓶三十グラム入　金二十五錢

東京日本橋區本石町　日本一手販賣　松澤常吉

◎專賣特許◎

空氣暖爐

暖爐に必要無き家にも病氣療養具として必ず空氣暖爐を備へ置くべき事を記憶せられたし

◉本器は防寒用として何れの室にも便利なれど肺病其他寒氣を厭ふ諸病に本器の利用は最も必要なり

◉別して感冒及小兒の百日咳等には本器を適度に應用せば速に全治する事實に妙なり

◉空氣療養の諸病に特効ある事は諸大家の定説にして今更喋々を要せざるも寒中の諸病寒冷なる空氣の呼吸は其害最も多し（本器明細書御報次第呈す）

特製一個金六圓八拾錢（地方送り荷造箱代一個金四拾錢）

並製一個金五圓九拾錢（東京大阪市内御報次第持參す）

東京市淺草區諏訪町一番地（長電話下谷八三一番）

大阪市南區安堂寺町御堂筋（長電話東四六二番）

小原商店　本店　支店

大好評再版成

婦人世界

◎千圓大懸賞珍附録　添の賞品は金時計襦珍帶側寶石入金指輪金帶止等を初め其他悉大文字本文中にも寫眞版滿載

◎弦齋氏の男女結婚論は大評判

◎髪の手入は如何にすべきか　◎注意すべき妊婦の嘔吐症　榊醫學博士

◎牛乳育兒法　加藤博士

◎書報兼備　斯の如き女學生は成業せず

◎三千餘點

三巻壹號　拾五錢　郵税壹錢　五厘六冊　九拾錢　郵税共

東京京橋南紺屋町十二　振替貯金口座三二六番　實業之日本社

季節草花植物模樣

半ゑり帯揚類

○諸刺繍　友染模樣　絞り模樣　色無地

○紅白繍　惣絞り形　繍入染形　繍絞り

○崭新ショール　大都花織　絹毛織　絲編類

○襦袢袖○高祖頭巾○男女方用襟巻○前掛

○懐中帛紗○御祝ひ帛紗地○襟飾ネクタイ

御地方御注文被仰越候節は振替貯金口座の四千四百〇一番へ御振込の上は速に御送品の手續き可申上候尙振替貯金口座の外は可相成〇御用命品の見積り代金御送金被遊度懇願仕候過剰金は郵便印紙を御返附可仕候

○御進物用切手箱入美麗なる調製有　本支店出店共通可仕候

但し金額壹圓以上貳圓三圓貳拾圓未滿

新橋竹川町十二番　本店　ゑり治

電新橋二〇二七

神田表神保町壹番　支店　ゑり治

電本局九五二

新橋際博品館内階下　出張店　ゑり治

院長診察月、水、金、午前、松田醫學士診察火、土午前、窮者施診火木午前入院診斷後隨時應需

松田、林、兩副長ハ目下當院ニ在勤、

電話本局八八八（病院用）八九八（私宅用）

東京神田區駿河臺鈴木町二番地（御茶水橋畔）

東洋内科醫院

院長醫學士高田畊安

神奈川縣相州高座郡茅ヶ崎村濱（停車場所在）

南湖院

河野、中村、兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後○同時窮者施診

副長診察月、火、水、木、金、土、午前

○入院診斷隨時應需

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮内省御用達　玉寶堂

電話下谷（特九六五番）一一二四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

洗用 ワッセル

◉此ワッセルは油じみ油あか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
◉用法は湯一升に二匁(小杯へ半分餘)の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシャツの如きは(拾貳匁)入一本にて貳百枚は必ず洗へますす御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗ふ樣に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具の拭き掃除にも有効です

定價 拾貳匁入 金拾五錢　六匁入 金八錢　袋入二錢

英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワッセル製造元
東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二
三友商會

めりんす友仙
特製 志まもすりん
新形太物品々
東京日本橋區人形町通り
赤のれん
おかだや

改良婦人もゝ引

定價中長八拾五錢大長九拾五錢色白、赤、桃色、鼠、送費内地二足迄拾貳錢五足以上當店持

(東京勸業博覽會賞牌受領)

こは最精選のネル地製にしてよく腰部を温め腰卷を附隨し股部の工合等御召心地のよき事は在來の婦人股引と比ぶべくもあらず衛生と實用に適し御婦人方御召料として眞にてき當なる御品なり

製造發賣元
東京日本橋區ふきや町十番地(電話浪花二三四八番)
佃屋シャツ店

特約販賣店
東京々橋區南傳馬町貳角(電本局一八二六)
ツクダヤシャツ店
横濱市伊勢佐木町壹
岡田屋商店

文藝書類

田山花袋君譯	キイッの詩	定價 金五拾錢	送料 金六錢
片上天絃君著	テニスンの詩	定價 金參拾錢	送料 金四錢
昇曙夢君著	露西亞文學の研究	定價 金七拾五錢	送料 金六錢
小川未明君著	綠髮	定價 金九拾五錢	送料 金八錢

發兌元
東京々橋南鍋町一丁目
隆文館

小栗風葉君著 天才
▽定價七拾五錢△
▽郵稅八錢△

これ風葉君が其一代の心血を傾注せし大傑作たり。新春の天地に必讀の好新刊の小說!!

發兌元 東京京橋南鍋町一丁目 隆文館

恭賀新年

我國に於ける
流行の源泉

デパートメントストーアの元祖

三越呉服店

最上醬油
キハク印

於亞路易博覽會
名譽大賞牌受領

キハク印
醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

釀造元
千葉縣野田町
茂木七郎右衛門
信略號(キハク)又(ハク)

東京支店
日本橋區小網町三丁目 電話浪花五七七四
中野長兵衛

△三叉文集
定價 金四拾五錢 郵稅 四錢

日本第一の大勸業場

新刊 第拾參篇
家庭お伽話
目次 牛の報恩(高野斑山)、豚の兄弟(吉岡向陽)
實價八錢郵稅二錢
六冊分前金六拾錢
東京 春陽堂 發行

阿蘇山の地學的研究
定價 金八拾五錢
郵稅 金八錢

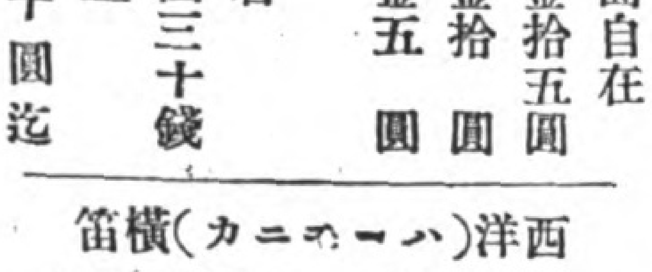
無師獨奏 紙腔琴

◎奏曲自在
上製金拾五圓
中製金拾圓
小形金五圓

船來 手風琴

新荷着
金三圓三十錢以上
金二十圓迄

西洋(ハーモニカ)横笛



金卅五錢以上金貳圓迄

東京銀座三丁目
十字屋樂器店
電話新橋一二五九

大聲發音器

各製造會社 特約

新案遊戲 闘球盤
●金壹圓八十錢以上各種●

愛國婦人廣告取扱
京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田三河町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸社
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區箱崎町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜舍
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衛門町 同
同區南鍋町 京華社支店 廣告社

明治四十一年一月廿日發行(毎月五日廿日二回)(定價金三錢一ヶ月六錢郵稅不要)(廣告料一行金六拾錢)發行兼印刷人 山澤浚夫 編輯人 永持德一 發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所 印刷所 東京牛込區市ヶ谷加賀町 秀英舍工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

◎新年禮會　本月十五日開催さるべき旨本誌前號に記載置きし處右は十七日午後二時半よりと變更され即ち同日定刻より偕行社樓上に於て新年禮會開催されしが當日總裁閑院宮妃殿下并に名譽會員東伏見宮妃殿下御台臨あらせられ理事近衛前公爵夫人を始め本會顧問二條公爵、岡部子爵、堀內大佐、會計監督佐藤少將、東京支部長、同幹事、近縣支部長等併せて約二百名出席せられ一同席定るや近衛前公爵夫人會長に代り總裁殿下に年始の辭を奉ると同時に一同敬禮を表し之にて式終り宴會の席に移ると同時に兼て準備し置ける福引の餘興を開き散會せしは午後四時なりき尙ほ本會理事鍋島侯爵夫人を始め本會職員にして特志看護婦委員を兼ねらるゝ諸氏は同日午後二時より開催の同會臨席の後特に本會に出席せられたり。尙當日福引の費用は有志者の寄附金と共に、主として愛國婦人發行所より寄附したるものなるが、爾後も每年此例に倣ひたく夫には會員諸姉の益々本誌發展に盡力せらるゝに非ざれば、斯る餘裕も生じ難きが故に、いよ〳〵切に諸姉の奮發斡旋を希ひたきものにこそ。

◎伏見若宮殿下奉送　伏見若宮殿下には御豫定の通り本月十日午前八時新橋驛發にて英國へ御留學の途に就き給へり。當日本會よりの奉送者左の如し。

評議員阿部篤子、關郁子、鳩山春子、渡邊いね子、中山幸子、松浦島子、仁杉うた子、松崎悅子代

東京支部幹事宇津木ひろ子、榊實子、木村常野子、福原德子、江藤照代子

◎參事會　十二日午後一時より參事會を開催して事務上の協議をなせり。當日の出席者左の如し。

東郷鐵子、濱尾作子、中山幸子、山脇房子、鳩山春子、關郁子、三輪田眞佐子、仁杉うた子

◎御見舞　雜報欄に記載せし岩倉家の災厄を御見舞の爲、十四日評議員濱尾作子、鳩山春子、關郁子の三氏本會を代表して會長邸を訪問せり。

◎新評議員　愛國婦人會幹事岩佐千賀子氏は今回本部評議員に推選せられたり。

◎解囑及派遣

右本部編纂掛の囑託を解く　大久保高明

富樫眞喜子

右本月十五日より二月十日迄京都支部下遊說の爲め派遣を命ぜらる。

各支部新年禮會彙報

◎德島支部　當支部會員篤志看護婦人會員合同新年互禮會を一月五日午前十一時より德島公園內涵翠閣に於て開催せり當日の來賓には堀內事務官古川醫學博士鈴江醫學士岡本斯文氏等にして一同着席支部長代理として堀內副長は開會の辭に次ぎ本會の發展と將來の希望を述べ總裁殿下御寫眞開扉と同時に一同順次拜禮祝酒を交換し夫より來賓古川博士岡本斯文氏の席上演說あり當日の餘興としては會員の彈奏有志の義太夫等ありて後宴に移り和氣藹々の內に午後四時閉會せり

◎秋田支部　一月十二日縣公會堂に於て祝賀會開催、出席會員百二十名に達せり午後零時三十分君が代樂奏に一同總裁殿下の御寫眞を拜し、次に下岡顧問開會の辭を述べて開宴し、講談及福引余興を催し各自歡を盡して和氣藹々たる間に散會せしは午後二時半なりき。

◎青森支部　青森の愛國婦人會職員は篤志看護婦人會員と協同し去る本月七日をトし赤十字社支部樓上に於て御眞影拜賀式を擧行し擧つて新年互禮會を催したるに就て贊成者は本月中に會費として金七十錢出金方を舊臘中通牒せり扱互禮會には餘興として日本全國の諸藝に堪能なる名人を招き尙嶄新なる趣向を以て福引をなし第一等の御召縮緬を始め廣瀨中佐の神靈等も顯はれ、又弘前市にては一月九日雨婦人會協同して概ね同一の方法を以て拜賀及互禮會を擧行したりと

◎京都支部　京都支部の新年宴會は五日午後三時より同事務所樓上にて開催し來會者は支部長大森齡子以下會員百四名にして、來賓大森知事、川越少佐、香川事務官補、二木、佐伯、篠田各警視、市內各警察署長、金子染織學校長其他廿餘名にて大森知事の挨拶ありて宴に移り餘興として福引其他狂言數番あり各自歡をつくして五時頃散會を告げたり

◎大阪支部　大阪同支部にては六日午後職員等の新年互禮および軍人遺族の慰藉を兼ね同會事業部開始第三週年紀念祝賀會を開けり來會者は高崎會長、廣岡顧問、片岡、沖野、土居、大谷等の各夫人を始め同事業部に就業する遺家族無慮二百名にして落語、俄、福引等の餘興あり遺家族共は役員等の親切なる接待及び種々の贈遺を受け多大の滿足を表し薄暮散會せり

◎廣島支部　陸海軍將校婦人會廣島支部、篤志看護婦人會廣島支部、愛國婦人會役員、婦人一心會役員等約二百四十餘名は戰病死將校未亡人三十餘名及び此等の諸會に關係せる男職員を招待し新年互禮會を兼ね新年宴會を五日午前十時より廣島偕行社に於て開く樂隊の奏する「君が代」に依り一同最敬禮を行ひ夫より開宴餘興としては北村南岳の講談、松林若圓の落語、作田連の手踊等あり尙うどん、そば善哉等の模擬店ありて折詰葡萄酒等配付せられ愉快に一日を送れり

◎福島支部　福島市在住の愛國婦人會及篤志婦人會にては九日午前十時赤十字社福島支部裏看護婦養成所內にて新年拜賀式を擧げたるが支部長平岡憂子其他會員五十餘名の出席者あり一同着席　兩陛下の御眞影を拜賀して後本年の全會擴張方針に就き協議する所あり終りて茶話會を催し各自歡を盡して散會せるは午後二時頃なりき

◎鹿兒島支部　愛國、篤志、鹿兒島の三婦人會の發起にかゝる鹿城婦人年始會は五日午後一時より鶴鳴館第二支店の廣間に於て開會せしが時刻に至り福山シツ子が「君が代」の奏樂に連れて一同起立唱和し次ぎに吉岡延子が開會の辭ありて後茶菓の饗あり朗々たる天氣の下和氣藹々の內に散會せしは午後四時頃なりき當日の出會者無慮百五十名なりしと

◎岐阜支部　一月五日安八郡大垣町倶樂部に於て愛國婦人會安八郡幹事部新年互禮會に兼ね過般下賜されし戶田廣子外三十四名の功勞賞授與式を擧げ餘興として會員の彈琴等ありたり

支部記事

◎支部長及顧問囑託　一月十日總裁宮殿下より左記の諸氏へ支部長及顧問を御囑託相成たり。

埼玉支部長　島田才子
同　顧問　正五位　島田剛太郎
福井支部長　中村千代子
同　顧問　從五位　中村純九郎
鹿兒島支部長　元福井支部長　坂本急子
同　顧問　元福井支部顧問　坂本彭之助

尙當日左記の諸氏は囑託を解かれたり

埼玉支部長　大久保榮子
同　顧問　大久保利武
鹿兒島支部長　千頭德子
同　顧問　千頭清臣

◎委員部長及顧問囑託　一月十三日及十四日附を以て左の如く囑託せられたり

天津委員部長　小幡民子
天津委員部顧問　正七位　小幡酉吉
桑港委員部長　小池芳子
桑港委員部顧問　正六位　小池張造

尙ほ左記の諸氏は囑託を解かれたり

天津委員部長　加藤直枝子
天津委員部顧問　加藤東四郎
桑港委員部長　上野とく子
桑港委員部顧問　上野秀三郎

◎慰問狀發送　鹿兒島支部顧問坂本彭之助氏病氣の由に付本月十日本會々長より慰問狀を發送せり。

愛國婦人會會員女子人口比較表　明治四十年十二月末日現在

支部名	特別會員 終身	特別會員 年賦	特別會員 計	通常會員 終身	通常會員 年賦	通常會員 計	合計	女子人口（三十六年末）	女子人口百人ニ付會員比例	贊助員
石川	四七三	一、五一七	一、九九〇	三四二	一九、四七一	一九、八一三	二一、八〇三	三八五、四七八	五、六六	六七
山口	一四八	七八五	九三三	九九一	二五、一七五	二六、一六六	二七、〇九九	五〇六、九二〇	五、三五	八
山形	一六五	八二二	九八七	五九七	二〇、一一六	二〇、七一三	二一、七〇〇	四三九、六一八	四、九四	[illegible]
愛知	四六三	一、一〇六	一、五六九	一、七二四	三四、五四三	三六、二六七	三七、八三六	八六八、五三八	四、三六	[illegible]
福岡	二八九	二、五四二	二、八三一	六一一	二九、八六六	三〇、四七七	三三、三〇八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岡山	三三二	八八〇	一、二一二	三七三	二二、六二八	二三、〇〇一	二四、二一三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
廣島	二八七	二、〇四八	二、三三五	六八四	二八、二一五	二八、八九九	三一、二三四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兵庫	五三四	一、七四六	二、二八〇	一、一〇一	三三、二二七	三四、三二八	三六、六〇八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
島根	一〇六	三四一	四四七	三二八	一三、二六〇	一三、五八八	一四、〇三五	[illegible]	三、八七	[illegible]
神奈川	三八三	一、三八三	一、七六六	七一五	一六、六七二	一七、三八七	一九、一五三	[illegible]	三、八三	[illegible]
愛媛	八七	四六五	五五二	二八六	一八、三九四	一八、六八〇	一九、二三二	[illegible]	三、七六	[illegible]
北海道及函館	三〇一	二、九八四	三、二八五	三六三	一五、二四七	一五、六一〇	一八、八九五	[illegible]	三、七二	[illegible]
富山	一〇四	八八五	九八九	一二七	一三、一八六	一三、三一三	一四、三〇二	[illegible]	三、七一	[illegible]
京都	四〇六	二、〇八〇	二、四八六	四七八	一五、五三五	一六、〇一三	一八、四九九	[illegible]	三、五五	[illegible]
熊本	二六六	二、六一五	二、八八一	三八一	一七、九三三	一八、三一四	二一、一九五	[illegible]	三、四七	[illegible]
香川	二〇七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
青森	一四三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
秋田	二二〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
群馬	六二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮崎	五一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長崎	一、二五九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福井	八八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
佐賀	一二五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮城	一八二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大分	一二三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栃木	一五四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	一〇九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長野	一六四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奈良	三六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
德島	七八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩手	七〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	五七八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京	一、三〇一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高知	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
靜岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滋賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千葉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山梨	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新潟	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
埼玉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
茨城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岐阜	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳥取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺灣	六八一	六八〇	一、三六一	二、四三三	九、六八二	一二、一一五	一三、四七六	一、四〇二、七七一	〇、九六	[illegible]
沖繩	四二	三〇六	三四八	四五	一、七一〇	一、七五五	二、一〇三	二三九、五二七	〇、八八	[illegible]
海外	—	七六〇	七六〇	—	二、一八四	二、一八四	二、九四四	—	—	二、七一三
計	一一、四七二	五四、二三四	六五、七〇六	二三、二〇六	六一八、六七二	六四一、八七八	七〇七、五八四	二五、三一三、〇四〇	二、八〇	三、六八二

備考（一）支部の配列は會員比例數の最も多きものより順次配列す
（二）北海道及函館の兩支部會員數は合算して揭載せり而して函館支部會員數は特別五百十七人（終身六十人年賦四百五十七人）通常千八百八人（終身七十六人年賦千七百三十二人）にして他は北海道支部會員數なり
（三）群馬支部並に海外の分は報告未達に付終身會員并に年賦會員の區別を爲す能はず暫く從前の報告を以て塡補せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支部の近況

◎神田區幹事部近況　東京支部神田區幹事部にては例年開催の幹事新年會を廢し之に充つべき各幹事の出金額を以て本月十二日午後一時より幹事一同廢兵院へ赴き在院の廢兵を慰藉せりと。本部遊說員野中彌智子氏横幕氏に代り慰問の辭を述べ餘興には劍舞、落語、琵琶等ありて後福引を催し尚ほ折詰鮨、菓子、正宗壜詰一本、手拭貳筋、繪葉書貳枚及雜記帳貳冊を贈與し終りに「しるこ」を出して同廢兵一同に滿足を與へ同五時一同退院せりと。當日の出席幹事は左の如し。

主任幹事横幕武良子、小原ろく子、齋藤勝子、堀内ゑん子、馬島園子、長竹くに子、山本すゞ子、中澤くめ子、原みき子、香取いし子、本部遊說員野中彌智子、支部事務員中島松江、並木幸三郞。

◎赤阪區幹事部にては區內の戰病死者及廢兵の遺族に對し一昨日左の如く金員を贈與せり。

金十圓横條富世△五圓高野きよ△二圓魚門三枝△二圓高橋藤太郎△二圓中川きく△十圓癈兵飯尾幸藏

△富山市支部情報▽

富山支部に於ては舊臘二十一日縣廳構內赤十字社富山支部會議室に於て有功章授與式に併せて富山市内在住の軍人遺族並に廢兵者に對し四十年定期救護の贈與式を擧行せり當日は朝來の吹雪甚だしきに拘はらず各被救護者は豫定の時刻に出頭し支部長副支部長以下職員の外支部顧問並に參與も參列せられ先つ第一に被救護者吉岡トキ外七拾名に對し顧問より夫々救護金を贈與せられ次に永井副支部長以下左記職員に對する有功章贈與せられたる後川上顧問は大要左の如き演說ありて閉會せるは午後一時過なりき。

▽有功章拜授者▽

二等有功章　支部長　永井知勢子
三等有功章　評議員　關野八重子
同　同　杉村しほ子
同　同　服部たき子
同　同　加藤きく子
同　同　四田貞子
同　幹事　山田花子

▲川上顧問の演說大要▼

茲に本日を卜して富山市内在住者に對する本會の明治四十年度の救護金贈與式を行ひ兼て本會に功勞ありし方々に對し有功章及紀念品贈與式を行ひまするに付皆様は年末多忙の折柄にも拘はらず能く御來會ありしは謝する所であります。先づ廢兵及忠死者遺族の方々に對し一言を申上ます本會が救護金を皆様に對し贈與致しまするは年來の例でありますから皆様のよく御承知あることで即ち本會の目的とする忠死者遺族の救護と廢兵者の慰藉とを爲し以て其名譽ある地位を永遠に支持せられんことを期するが爲である而して本會の成立及救護金の出所に付ては皆様もよく御承知あるが如く本會は立派なる婦人而かも社會の各層を通じたる婦人より成り組織し殊に　閑院宮妃殿下の總裁あらせらるゝ一大團體にして救護金の出所は會員の義務醵金より生れたるものであるゝされば皆様へ贈與する金額は少額ながらも誠に貴きものと申さればならぬ譯て皆様は此金に對しては最も有効に使用せらるべきことゝは信じますが此點に就ては婆心ながら充分なる御注意を促して止まぬ次第であります終に方り皆様が廢兵又は忠死者の遺族たる名譽ある面目を保たれんことを切望致し置きます。

次に役員の方々に對して一言申上ます皆様は日常本會の爲に熱心せられ或は會員の募集に或は令旨の贊及に或は戰病死者追弔法會に或は慰普演藝會開催に或は授產事業に盡されたるの功勞少なからず其結果として漸次支部の隆盛を來たしつゝあるは喜ぶ所である只今贈與したるは輕微なるものなれども單に其紀念として感謝の徴意を表せんが爲めでありますから御受納ありたし。殊に此度有功章を受領せられし方には格別功績の顯著なるものあるを其筋に於て御認めなされたる結果にして御名譽の稱は深く御審を申上ます。要するに役員の方々は本會及支部の前途尚遼遠なるものあるを思はれ今後更に一段の御奮勵あらんことを希望致します。

▽尚ほ富山支部に於ては幹事部長及同顧問以下各職員に對して富山授產場に於て調製せる襯衣並に刺繡ハンカチーフ等披露旁歲末慰勞の爲め左記各頭書の通り夫々寄贈せりと。

一　絹製大刺繡ハンカチーフ
一　フランネル襯衣一組
一　メンネル襯衣一着宛
一　絹製小刺繡ハンカチーフ
一　メンネル襯衣一着宛
一　絹製小刺繡ハンカチーフ
以上

幹事部長顧問　拾九名
全　幹事部長　十九名へ
全　幹事部事務員　二十三名へ
分區委員　二百八十九名へ

尚評議員及富山市內坦當幹事中會務の爲特に奔走盡力せる諸子四十九名に對し紀念として刺繡絹製ハンカチーフ（本會徽章の模樣）壹枚宛贈與せり。

▽又同富山支部に於ては本月十日總裁宮殿下御寫眞拜賀式を兼ね市內會員年賀會、戰死軍人追悼會、遺族廢兵慰藉會を開く出席會員多く盛况なりき

△熊本支部初會▽

愛國婦人會熊本支部初會は六日午後一時半より熊本縣會議場に於て開會したり來會者は押川顧問、石川、豐田、堤各相談役押川支部長、石原支部副長、西島評議員を始め幹事以下會員を加ふれば總員約七百名に及び先河內山同支部幹事開會を告げて　總裁宮殿下の御幕を除き此間蓄音器にて君が代を奏し一同敬禮して更に御幕を蔽ひ押川知事支部顧問として一場の挨拶をなし先づ多數の來會を謝して各會員の働きに依りて昨年中支部の活動せる事を賞揚し尚ほ本年も會員一層活動して同會を隆盛ならしめんことを依囑し且其目的を述べて同會は戰時のみならず平時にも必要なると談解せざる様にと說きて將來の發展を希望し次に河內山幹事の四十年度會計及び事務報告をなして閉會を告げ尚ほ來る八日は陸軍始に付例年の通り參觀ありたき旨陸軍より通知ありたるに付當日該會の參觀希望者は午前九時半迄砲兵營前の定席に着かれたしと述べて直に餘興に移り尾藤氏の日露戰爭並に義士の講談、同弟子の日露戰爭講談、福引及び茶菓の饗應ありて午後五時頃散會し盛况を呈したり因に細川侯爵家の姫君靜子氏も亦當日家從及侍女を隨へて臨場せられたり。

△兵庫支部近況▽

◎神崎郡幹事部　一月十二日午後二時より第一回會員總會を同郡田原村振武館庭內に於て擧行す。來會者は支部長以下同部幹事部長、顧問、幹事等及軍人遺族廢兵百六十七人會員七百八十二人にして總數一千十二名に達せり。當日遺族廢兵には支部より菓子折並に紀念品として扇子を贈與し音樂等の餘興ありて頗る盛大なりき。又同郡北部の五ケ村在住の會員五百七十七人遺族廢兵七十四人は會場に至る頗る遠隔にして參會困難により客月十五日郡內粟賀尋常高等小學校講堂に於て前川幹事部長及顧問幹事等出席午後一時より式を擧行す一般の模樣等は前述の如し。

◎氷上郡幹事部　昨年十二月十四日午後二時より氷上郡柏原町女學校講堂に於て擧行支部長以下幹事部長顧問支部幹事等及軍人遺族廢兵會員を併せ總數會餘名に達し降雨にも拘らず盛大なりき。尚ほ當日は支部より特に遺族廢兵に扇子及折詰を贈り又幹事部よりは徽章を染出たる小風呂敷及折詰辨當を贈與し午後三時閉會せり

◎北海道支部　愛國婦人會北海道支部にては支部長の移勤其他の理由に依り昨年中は一向に會員の募集を努めざりしも自動的入會者八百余名ありて現會員一萬六千八百三十八人の多數に達し居ると云ふ

◎青森支部　上北郡幹事部にては去十一月四日より二十一日まで寒天雨雪を冒し非常の惡路を忍びて遺族廢兵慰問を兼ね現况觀察の爲め小島幹事部長始め各町村に出張せし槪要は當時旣報せしが今回幹事部長より靑森支部長への報告を一見するに逐次遺族廢兵の姓名を記し家族の人員財產の目錄、恩賜金の保管方法及其存否生計の程度凡そ同會救護上參考の料となるべきものは一切之を網羅したる等特別の注意を拂ひたる切實の調査は從來其類例に乏しく右は獨り遺族廢兵をして滿足せしむるのみならず一面遺族廢兵をして自ら救護を受くるの名譽ならざるを覺り不得已ものゝ外自然家業に勵精するの動機を與へたる如く看取せられたり右に就き大に櫛風沐雨の勞を執りたる職員並に有志は左の如しと

幹事部長小島はる子、よし子盛仝新渡
仝河村げん子、仝高尾よ子、、田たま
戶わか子、參事高橋なもと子子駒濱な
子、間山やす子、盛田口ふみ　、會員
み子、五井かつ子、田
平野いわ　七戶町書記　戶田眞一郞、
幹事工藤いし子、
事務員橋本昴、　下田助役中野好徹
三本木助役豐川毅、
百石村收入役松田美代司、藤里書記江
渡與五郞六戶屋田口傳五郞の諸氏

▽亦同靑森支部に於ける總會の調查に依れば會員一萬六百餘名に達し其後增加せる數は二千六十七名にして豫定會員に達したるは靑森市を最とし次て弘前市、東郡、三戶郡、下北郡、西郡の序列なりと雖も中郡は今や幾と豫定率に達せんとし南、北、上北の諸郡亦目下奬勵中なれば其全部の目的を達するも遠きにあらざるべし又會費醵集の成績は直轄靑森市の擢んするは當前とし三戶郡を良として次に中、北、下北、上北、等の順次なるも之は日夕の勉勵如何に依り直に變更するものなれば毫も油斷ならざるなりと聞く靑森支部に於ては明年度より規定に拘泥せずして恩給を受けざる貧困の廢兵にも救護を及ほし遺族に對しては時々實地を調查して一層貧困者の遺漏なきを期し以て大に切實なる救護の目的を達する由なれば從つて救護金の如き自ら多大を要すべきを以て職員は固より各會員に於ても一大決心を以て會旨の貫徹を期し遺族廢兵諸氏に滿足を與ふる計畫なりと

▽秋田支部　昨年十二月五日午後一時より愛國婦人會員支部評議員會を縣廳內に於て開き四十一年度豫算を審議したる由

▽仙北郡幹事部　仙北郡幹事部に於て救護金及外國人等の寄贈金交付式を擧ぐるに郡内を大曲、角館、刈和野、六鄕の四方面に分ち大曲方面は去る十二月十三日午後一時郡會議事堂に於て協議員町村委員參列の上顧問代理者本會の主旨を懇示し中田幹事部長自ら之を交付し角館方面は同十七日午後一時角館町役場に於て刈和野方面は同十八日午後三時刈和野小學校に於て六鄕方面は同十九日午後一時六鄕町役場に於て中田顧問出張協議員及町村委員參列の上本會の主旨を說示し之を交付したり救護を受けたる人員三十九名にして金額貳百九拾壹圓なり亦同時に前記四ケ所に於て外國人及在外本邦人の寄贈に係る郡內總額金九百四拾圓の遺族寄贈金交付式をも擧行し各所共贈の主旨を說き遺族者の心得を示したるが遺族百八十名の多數は大概自身に參集して之を受領し大に廢兵遺族の感想を惹起したり殊に刈和野町、六鄕町は愛國婦人會員多數出席斡旋して廢兵並に遺族に對し茶菓を供したる等奇特の事なりし

◎岩手支部　愛國婦人會の三十七八年戰役後は專ら廢兵遺族救護慰藉及び同會員の功勞表彰其他敘勳等同戰役に關係する事務に就き調查しつゝありしが最早本年中には略直接同役に關係せる事務の大方は整理せるを以て明年度よりは左の發展を計るべしと云ふ

一　一層同會を擴張して後圖に備ふる事
二　同會發行の愛國婦人會誌に全力を注ぎ家庭及婦人界の改良進步を計り愛國的志想を鼓吹する事
三　會員を百萬人に達するの豫定を以て各支部に督勵を促する事

◎茨城支部　多賀郡幹事部第一次總會は十二月二十四日午後一時より同郡役所內に開かれたり式場は事務室を以て之れに充て天井には旭旗、各國旗、赤十字旗等を幾筋となく縱横に張り列ねたり午後一時社員招待員一同設けの席に着くや幹事部長の先導にて森支部長臨席と共に式は開かれ幹事部長顧問岩倉會長の令旨代讀し次に森支部長の祝辭山田幹事部長の答辭、各町村委員部物代の祝辭、森知事の祝辭演說、大石會員總代代祝辭等ありて總つて山田幹事部長閉會を告げ一同隨意退散す尙ほ森支部長の祝辭及び山田幹事部長の答辭左の如し

祝辭

愛國婦人會多賀郡幹事部は會運日に盛に赴き玆に第一回の總會を開くに至りしは洵に喜び祝ふ處なり然れども救護の業は前途尙ほ遼遠なれば一層心を一にし力を合せて本會の主旨を貫徹せられんことを望む

愛國婦人會茨城支部長　森うん子

答辭

本日を以て當幹事部第一回總會を開くに方り森支部長同夫人には御臨場を給はり殊に篤き御論辭を辱うしたるは當幹事部の最も光榮とする所也自今職員及會員と共に倍々勸勉努力して事務の擴張を圖り以て御高論に副はんことを期す聊か蕪辭を陳ねて答辭とす

多賀郡幹事部長　山田いの子

◎栃木支部　足利郡幹事部にては十二月廿一日午前十時より郡役所樓上に於て幹事會を開きたるは既記の如くにして當日出席したる會員は幹事部長中森しげ子始め

阿由葉孝子　白石しの子　世取山ふさ子　金井じう子　長谷ちか子　峯岸その子　木村甲子　岩槇なつ子　足利かず子

及び中森恒屋長の各顧問助川事務員等にして三十七八年日露戰役に從軍し不幸戰病死し又は廢兵となり生計困難なる左の遺族に救助金を贈呈することに決議し同二十六日午前十時を期して郡役所樓上に於て贈呈式を行ひたり

一金十五圓　富田村多田木　飯田ふく
一金十一圓　毛野村川崎　丸山やゑ
一金十圓　富田村奥戶　室岡圣平
一金八圓　久野村野田　金井幸三郞
一金七圓　富田村奥戶　島田芳藏

▽亦同栃木支部に於ては前項揭載の他にも大に活動し昨年の水害を蒙りし左記名の出征軍人遺族へ金四圓つゝの見舞金を同郡役所を經て贈與せり

下都賀郡部屋村　田中あさ
仝　仝　片柳かれ
仝　仝　落合春吉
仝　仝　長島富次

◎群馬支部　本縣の廢兵及び軍人遺族中生活困難なる人々に對して愛國婦人會より救助金を贈られたる人員は三百六十一人金額千三百五十圓五錢にして之れを郡別にすれば左の如し

勢多四十人百四十九圓△群馬六十一人二百六十二圓△多野卅六人百五十圓△北廿樂卅七人百二十圓△碓氷四十四人百九圓△利根四十一人百五十三圓△山田二十一人七十五圓△新田二十七人九十圓△佐波三十人百八十圓△前橋廿一人五十四圓五十錢△高崎三人八圓△吾妻邑樂調查中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治四十一年一月廿日發行（毎月二回五日廿日）明治三十五年三月二十七日（第三種郵便物認可）

IMPERIAL LIBRARY

愛國婦人會廣島支部第一回總會紀念撮影

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 永持德一　發行所 愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN